Canon

JPN

ソフトウェアガイド

Satera MF3220



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

● 製品の設定方法 ● ソフトウェアのインストール	スタートアップガイド
● 各種機能の基本操作 ● メンテナンス ● 各種機能の設定 ● 仕様	操作ガイド（基本編）
● 各種機能の応用操作 ● システムモニタ ● 困ったときには	操作ガイド（応用編） CD-ROM
● プリントの操作方法 ● スキャナの操作方法	ソフトウェアガイド（本書） CD-ROM

CD-ROM このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
- 表紙のイラストはお買い求めの製品の外観と多少異なることがあります。

目次

本書の使いかた

■ トップページについて

一つ前に表示したページに戻ります。
前のページまたは次のページを表示します。
トップページに戻ります。

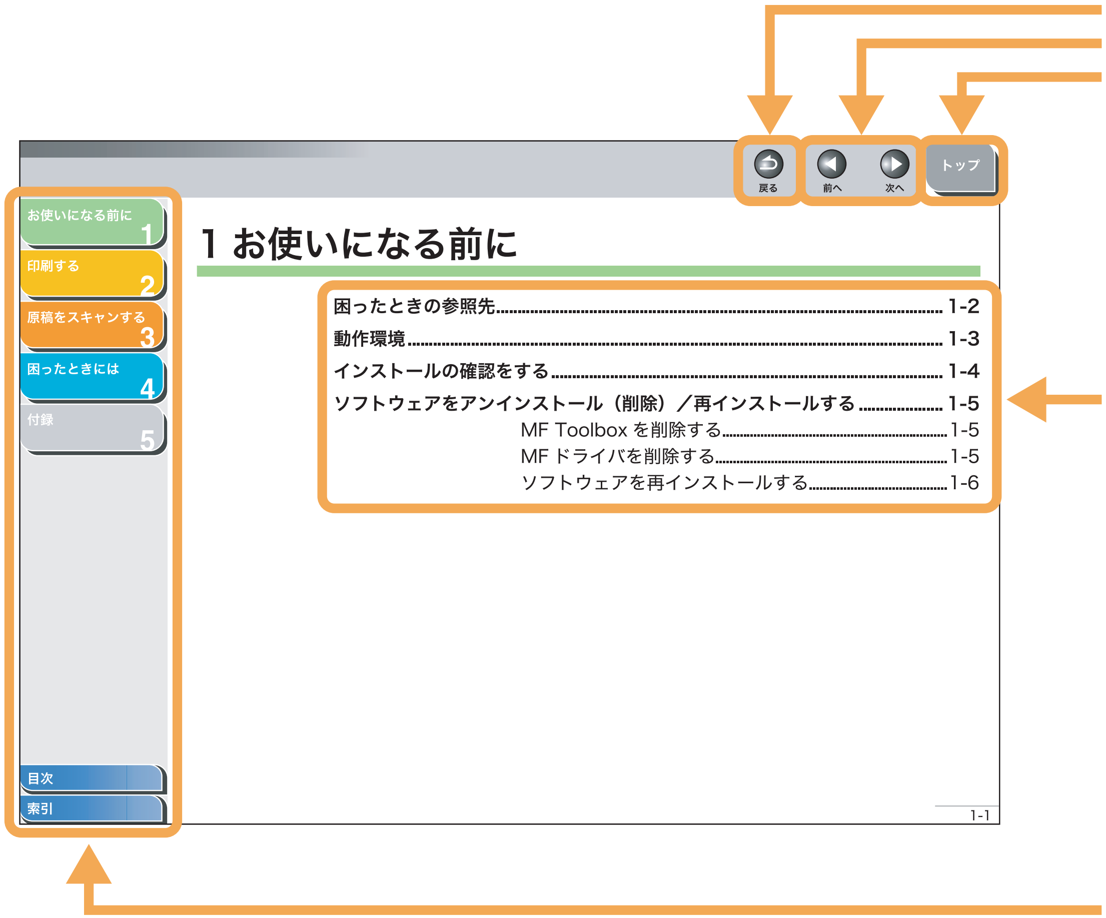


「本書の使いかた」のページを表示します。

クリックすると、それぞれの章や目次、索引ページを表示します。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

章扉について



一つ前に表示したページに戻ります。

前のページまたは次のページを表示します。

トップページに戻ります。

章の目次が記載されています。

クリックすると、それぞれの章や目次、索引ページを表示します。

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、コンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：［詳細設定］

商標および著作権について

商標について
Canon、Canon ロゴ、および Satera はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中に記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標、または商標です。

著作権について

免責事項
本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

1 お使いになる前に

困ったときの参照先

ドライバのインストール時、または本製品の使用時にトラブルが起きた場合には、以下を参照してください。

ソフトウェアガイド（本書）

「第４章 困ったときには」を参照してください。

操作ガイド（基本編）

「第８章 困ったときには」を参照してください。

README.TXT ファイル

MF ドライバのインストール時と使用時の留意点（ヒントおよび制限事項）については、ドライバと一緒に付属の CD-ROM に収録されている README.TXT ファイルを参照してください。

オンラインヘルプ

ドライバソフトに収録されているオンラインヘルプファイルにも追加のヘルプ情報が収められています。
［プロパティ］ダイアログボックスで［ヘルプ］ボタンをクリックすると、ドライバの全機能とオプションに関する情報が表示されます。

状況依存ヘルプ

表示されているダイアログボックス内の各項目の説明が表示されます。この状況依存ヘルプは、次のいずれかの方法で表示できます。

- ダイアログボックスのタイトルバーで ? (ヘルプ) ボタンをクリックし、目的の項目をクリックします。
- 目的の項目を右クリックし、[ヘルプ] ボックスを選択します。
- 目的の項目をクリックし、[F1] キーを押します。

キヤノン販売店またはサービス代理店

ヘルプに必要な情報がない場合は、お買いあげのキヤノン販売店またはサービス代理店までお問い合わせください。

動作環境

ハードウェア環境

- IBM コンピュータまたは IBM 互換コンピュータ
- CD-ROM ドライブ、または CD-ROM へのアクセスが可能なネットワーク環境
- USB ポートが装備され、USB クラスドライバがインストールされているコンピュータ

Microsoft Windows 98/98SE

CPU：Intel® Pentium® 90MHz 以上
メモリ：64MB 以上
空きハードディスク容量：25MB 以上

Microsoft Windows ME

CPU：Intel® Pentium® 150MHz 以上
メモリ：64MB 以上（128MB 以上を推奨）
空きハードディスク容量：25MB 以上

Microsoft Windows 2000 Professional

- USB1.1 で使用する場合

CPU：Intel® Pentium® 133MHz 以上
メモリ：64MB 以上（128MB 以上を推奨）
空きハードディスク容量：25MB 以上

- USB2.0 で使用する場合

CPU：Intel® Pentium® II 以上
メモリ：128MB 以上
空きハードディスク容量：25MB 以上

Microsoft Windows XP

- USB1.1 で使用する場合

CPU：Intel® Pentium® 300MHz 以上
メモリ：64MB 以上（128MB 以上を推奨）
空きハードディスク容量：25MB 以上

- USB2.0 で使用する場合

CPU：Intel® Pentium® II 以上
メモリ：128MB 以上
空きハードディスク容量：25MB 以上

メモ

- USB 2.0 Hi Speed をご利用いただくためには、Windows XP SP1 以上がインストールされ、CPU が 300MHz 以上、RAM が 64MB 以上であるか、Windows 2000 SP4 がインストールされ、CPU が 133MHz 以上、RAM が 64MB 以上である必要があります。お使いのコンピュータが以上の条件を満たしていて、USB 2.0 用ドライバがすでにインストールされている場合は、USB 2.0 をご利用になれます。
- スキャナ使用時、動作中に必要な容量は、読み取り画像サイズおよびアプリケーションの使用するディスク容量によって異なります。

インストールの確認をする

ドライバが正しくインストールされているか、また本製品が通常使うプリンタとして設定されているかを確認します。

メモ

アプリケーションから［印刷］画面を開いたときに、本製品が選択されていれば、本製品が通常使うプリンタとして設定されています。

1. ［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダを開きます。

タスクバーの［スタート］から［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 のときは［スタート］→［設定］→［プリンタ］）をクリックします。
プリンタドライバのアイコンが表示されているか確認します。

2. 通常使うプリンタに設定します。

本製品のプリンタのアイコンをクリックします。
［ファイル］メニューから、［通常使うプリンタに設定］をクリックします。

3. ［スキャナとカメラ］フォルダ（Windows 98/Me/2000 の場合は［スキャナとカメラのプロパティ］画面）を開きます。

タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をクリックします（Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックして、［スキャナとカメラ］のアイコンをダブルクリックします）。
スキャナドライバのアイコンが表示されているか確認します。

4. デスクトップに［Canon MF Toolbox 4.9］のアイコンがあるか確認します。

MF Toolbox 4.9 はインストールされています。

ソフトウェアをアンインストール（削除）／再インストールする

MF ドライバが正常に作動しない場合は、MF ドライバを削除してから、再インストールします。再インストールするときも、まず現在インストールされているソフトウェアを削除する必要があります。MF ドライバを削除する前に、次の点を確認してください。

- **インストールするソフトウェアを手元に用意してください。**
- **コンピュータ上で実行中のアプリケーションがある場合は、終了してください。**

メモ

- Windows 2000/XP からソフトウェアをアンインストールするときは、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。
- ソフトウェアを削除するときはまず MF Toolbox を削除し、次に MF ドライバを削除します。

MF Toolbox を削除する

1. タスクバーの［スタート］から［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MF　Toolbox　4.9］→［Toolbox アンインストール］をクリックします。

2. 画面上の指示に従って操作します。

プログラム修復または削除を選択する画面が開いたら、［削除］をチェックし、［次へ］をクリックします。
アプリケーションなどを削除してよいかを確認するメッセージが表示されたら、［OK］をクリックしてください。
コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動させてください。

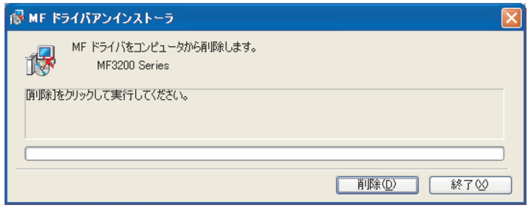
3. ［終了］をクリックします。

MF ドライバを削除する

1. タスクバーの［スタート］から［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MF3200 Series］→［ドライバアンインストール］をクリックします。

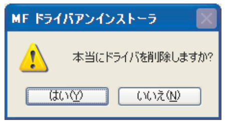
［MF ドライバアンインストーラ］画面が表示されます。

2. ［削除］をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

3. ［はい］をクリックします。



ドライバが削除されます。

4. [終了] をクリックします。



メモ

再起動を促すメッセージが表示されることがあります。このときはコンピュータを再起動させてから再インストールしてください。

ソフトウェアを再インストールする

タスクバーの［スタート］から［マイコンピュータ］をクリック（Windows 98/Me/2000 のときは、［マイコンピュータ］をダブルクリック）して CD-ROM のアイコンを開き、［MInst］（［MInst.exe］）をダブルクリックすると、MF セットアップ画面が表示されます。スタートアップガイドに従ってインストールし直してください。
ネットワークやハードディスクに保存したコピーを使ってインストールするときは、コピー先の［MInst］（［MInst.exe］）をダブルクリックして MF セットアップ画面を表示します。

2 印刷する

文書を印刷する

1. **アプリケーションで印刷する文書を開きます。**

2. **印刷のコマンドを選びます。**

通常は、［ファイル］メニューで［印刷］を選びます。
［印刷］画面が表示されます。

3. **［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］で、使用するプリンタをクリックします。**

4. **［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。**

メモ

アプリケーションによっては［印刷］画面の［全般］タブで使用するプリンタを選択し、印刷の詳細設定を行います（Windows 2000 のみ）。

5. **印刷の詳細設定を行い、［OK］をクリックします。**

メモ

詳しくは、「印刷の設定を変更する」（→ P.2-3）を参照してください。

6. **［印刷］または［OK］をクリックします。**

印刷が開始されます。

メモ

印刷を中止するには、［キャンセル］をクリックします。

印刷を中止する

1. **［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 のときは、［プリンタ］フォルダ）を開きます。**

タスクバーの［スタート］から、［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 のときは、［スタート］から、［設定］→［プリンタ］）をクリックします。

2. **［Canon MF3200 Series］のアイコンをダブルクリックします。**

3. **印刷を中止する文書を右クリックし、［キャンセル］または [印刷中止] →［はい］をクリックします。**

メモ

- Windows 98/2000 の場合は、［キャンセル］または [印刷中止] をクリックすると削除されます。
- 本体の操作パネルの［システムモニタ］を使って印刷を中止することもできます。詳しくは、操作ガイド（応用編）「第 2 章 システムモニタ」を参照してください。

印刷の設定を変更する

印刷の設定を表示または変更する場合は、プリンタドライバの［プロパティ］または［印刷設定］画面を表示してください。
［プロパティ］画面は、アプリケーションの［印刷］画面および［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダから開くことができます。［印刷設定］画面は、［プリンタと FAX］（Windows 2000 の場合は［プリンタ］）フォルダから開くことができます。
この画面を表示するには、次の方法に従ってください。

メモ

- ［プロパティ］画面では、プリンタの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用の印刷設定ができます。［印刷設定］画面では、本製品の印刷の詳細設定を変更することができます（Windows 2000/XP のみ）。
- ［プロパティ］画面に表示されるタブの数は、お使いの環境と画面の表示のしかたによって異なります。
- 画面の表示のしたかによって、設定内容の有効期間が異なります。
  - アプリケーションの［印刷］画面から［プロパティ］画面を表示した場合、選択した印刷オプションは現在の印刷のみに適用され、アプリケーション終了時に無効になります。
  - ［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 のときは［プリンタ］）フォルダから［プロパティ］画面を表示した場合、選択した印刷オプションはすべての Windows アプリケーションに適用され、設定を変更するまで有効です。

Windows アプリケーションから表示する場合

［印刷設定］または［プロパティ］画面を開く

1. 印刷のコマンドを選択します。

通常は、［ファイル］メニューで［印刷］を選択します。
［印刷］画面が表示されます。

2. ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］でプリンタを選択します。

3. ［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

［Canon MF3200 Series のプロパティ］または［Canon MF3200 Series 印刷設定］画面が表示されます。

メモ

アプリケーションによっては［印刷］画面の［全般］タブで使用するプリンタを選択し、印刷の詳細設定を行います（Windows 2000 のみ）。

[プリンタと FAX]（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダから表示する場合

[プロパティ] 画面を開く

1. [プリンタと FAX]（Windows 98/Me/2000 のときは、[プリンタ]）フォルダを開きます。

タスクバーの［スタート］から、[プリンタと FAX]（Windows 98/Me/2000 のときは、[スタート]→[設定]→[プリンタ]）をクリックします。

2. プリンタのアイコンをクリックします。

3. [ファイル] メニューから［プロパティ］をクリックします。

プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても、[プロパティ] 画面を表示することができます。
[Canon MF3200 Series のプロパティ] 画面が表示されます。

Windows 2000/XP で［印刷設定］画面を開く

1. [プリンタと FAX]（Windows 2000 のときは、[プリンタ]）フォルダを開きます。

タスクバーの［スタート］から、[プリンタと FAX]（Windows 2000 のときは、[スタート]→［設定］→［プリンタ］）をクリックします。

2. プリンタのアイコンをクリックします。

3. [ファイル] メニューから［印刷設定］をクリックします。

プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択しても、[印刷設定] 画面を表示することができます。
[Canon MF3200 Series 印刷設定] 画面が表示されます。

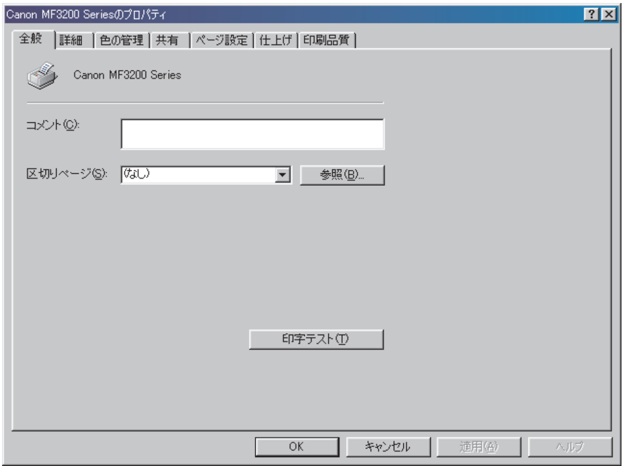
Windows 98/Me でのプリンタのプロパティ画面

メモ

- 画面は［プリンタ］フォルダから［Canon MF3200 Series のプロパティ］画面を開いたときのものを使用しています。
- ［プロパティ］画面に表示されるタブの数は、お使いの環境と画面の表示のしかたによって異なります。

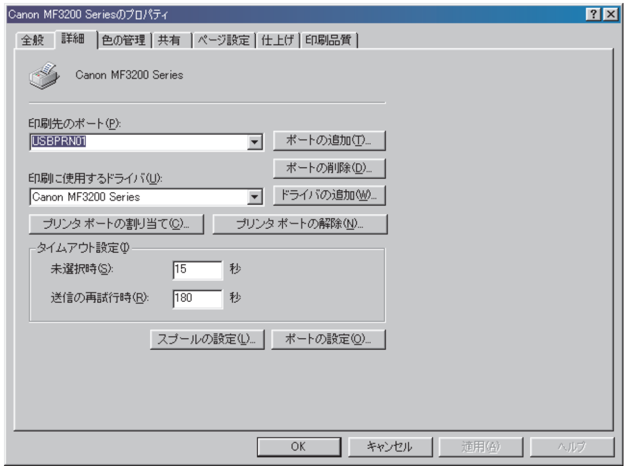
［全般］タブ

テストページの印刷や分割ページの定義が行えます。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



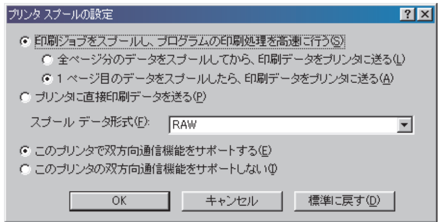
［詳細］タブ

プリンタポートやタイムアウトの設定をします。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



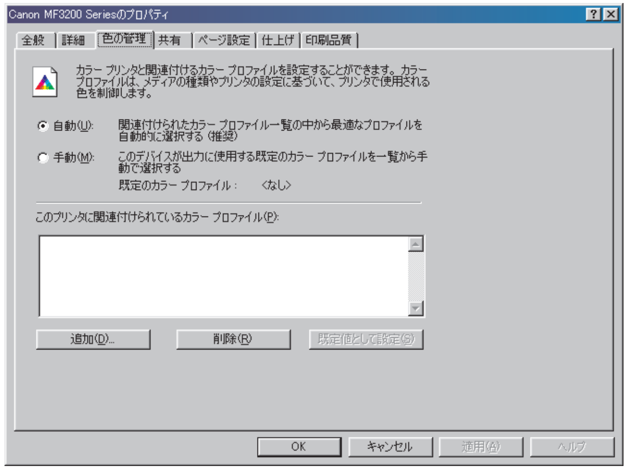
プリンタ スプールの設定

初期設定値は次のように設定されています。



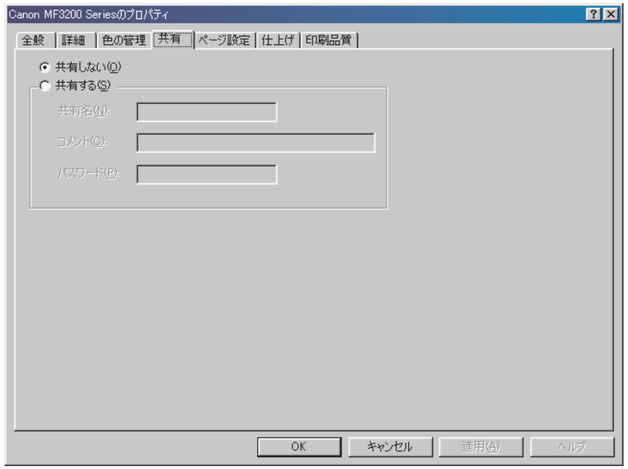
［色の管理］タブ

カラープロファイルをプリンタに関連付けます。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



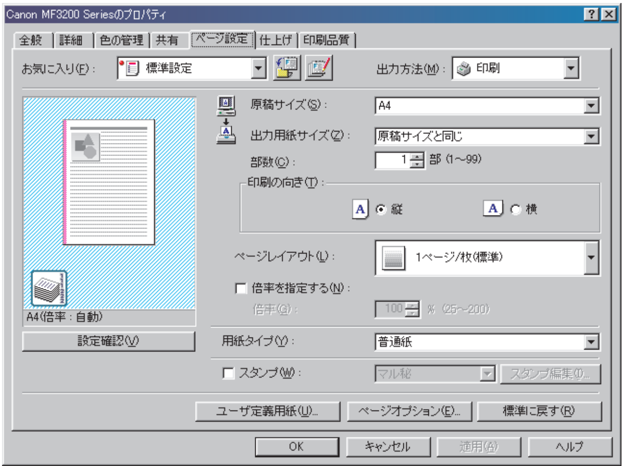
［共有］タブ

プリンタ共有の設定値を指定します。このタブは、プリンタ共有が有効になっている場合のみ利用できます。（→本製品をネットワーク上で使用する：P.2-41）
詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



［ページ設定］タブ

用紙サイズ、拡大縮小率、部数、印刷の向き、１枚の用紙に印刷するページ数など、ページ設定を指定します。
［お気に入り］、［出力方法］の詳細については、「お気に入り」（→ P.2-17）を参照してください。



［原稿サイズ］　アプリケーションで作成した原稿サイズを選択します。選択できるサイズは［レター］、［レジャー］、［リーガル］、［エグゼクティブ］、［A5］、［B5］、［A4］、［B4］、［A3］、［封筒 洋形２号］、［封筒 洋形４号］、［はがき］、［往復はがき］および［ユーザ定義（名称固定）］です。ただし、［原稿サイズ］に［レジャー］、［B4］、または［A3］を設定すると、［A4］サイズに収まるように元の原稿サイズが自動的に縮小されます。

［出力用紙サイズ］　印刷する用紙サイズを選択します。［原稿サイズと同じ］以外に設定すると、選択した用紙サイズに収まるように自動的に拡大／縮小して印刷されます。

メモ

［ユーザ定義用紙］画面で、最大 50 通りの用紙サイズを定義できます（→ユーザ定義用紙：P.2-10）。

［部数］　印刷する部数を指定します（1 ～ 99 部）。

［印刷の向き］　印刷する用紙の向きを指定します（［縦］または［横］）。

［ページレイアウト］　用紙１枚当たりに印刷する原稿の枚数（1、2、4、6、8、9、16 枚）、または、画像を拡大して複数枚の用紙に分割して印刷するポスター印刷の設定をします。［1 ページ / 枚（標準）］および［ポスター］以外に指定すると、選択したページレイアウトに収まるように自動的に縮小されて印刷されます。

メモ

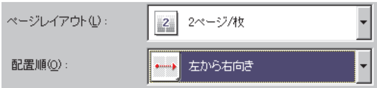
- ［ポスター］を選択すると、［倍率を指定する］、［スタンプ］および［ページオプション］が選択できなくなります。
- ［1 ページ / 枚（標準）］を選択すると［倍率を指定する］が表示されます。［1 ページ / 枚（標準）］および［ポスター］以外に設定すると、［倍率を指定する］の代わりに、［配置順］が表示されます。

［倍率を指定する］　拡大/縮小して印刷する場合の倍率を指定します。チェックマークを付けると、右側の編集ボックスが使用可能になり、倍率（25 ～ 200 %）を指定できます。

メモ

アプリケーションソフトの［印刷］画面で拡大／縮小率を設定できる場合、プリンタドライバでは 100% に設定し、アプリケーションソフトで目的の拡大／縮小率を設定してください。

［配置順］　１枚の用紙に複数の原稿を印刷する場合に、用紙に原稿を配置する順序を選択します。



［用紙タイプ］　印刷する用紙の種類を選択します。利用可能な用紙の種類は次のとおりです。

- 普通紙（64 ～ 90g/m^2）
- 普通紙 L
- 厚紙
- 厚紙 H
- OHP フィルム

メモ

- ［普通紙］の設定でプリントした結果、用紙がひどくカールする場合は、［普通紙 L］に設定してください。
- ［厚紙］の設定で十分なプリント結果が得られなかった場合は、［厚紙 H］に設定してください。
- 原稿サイズで［封筒洋形２号］または［封筒洋形４号］を選択し、出力用紙サイズで［原稿サイズと同じ］を選択すると、［用紙タイプ］は自動的に［封筒］に設定されます。
  また、出力用紙サイズで［封筒洋形２号］または［封筒洋形４号］を選択すると、原稿サイズの設定にかかわらず、［用紙タイプ］は自動的に［封筒］に設定されます。
- 原稿サイズで［はがき］または［往復はがき］を選択し、出力用紙サイズで［原稿サイズと同じ］を選択すると、［用紙タイプ］は自動的に［はがき］に設定されます。
  また、出力用紙サイズで［はがき］または［往復はがき］を選択すると、原稿サイズの設定にかかわらず、［用紙タイプ］は自動的に［はがき］に設定されます。

［スタンプ］　選択したスタンプを各ページに付けて印刷します。６種類のスタンプが用意されています。［スタンプ編集］でスタンプを追加することもできます。

- マル秘
- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- コピー禁止

［スタンプ］にチェックマークを付けると、［スタンプ編集］が利用できます。

メモ

［スタンプ］は、［ページレイアウト］が［ポスター］に設定されている場合は使用できません。

［スタンプ編集］　［スタンプ編集］画面を表示して、スタンプ印刷の詳細設定を行います（→スタンプ編集：P.2-9）。

［ユーザ定義用紙］　［ユーザ定義用紙］画面を表示して、独自のサイズの用紙を設定します（→ユーザ定義用紙：P.2-10）。

メモ

［ユーザ定義用紙］は、［プリンタ］フォルダから［Canon MF3200 Series のプロパティ］画面を表示した場合にのみ設定できます。アプリケーションから表示した［プロパティ］画面からは設定できません。

［ページオプション］　日付やページ番号を印刷したり、用紙に枠を付けて印刷したい場合などに使用します（→ページオプション：P.2-11）。

メモ

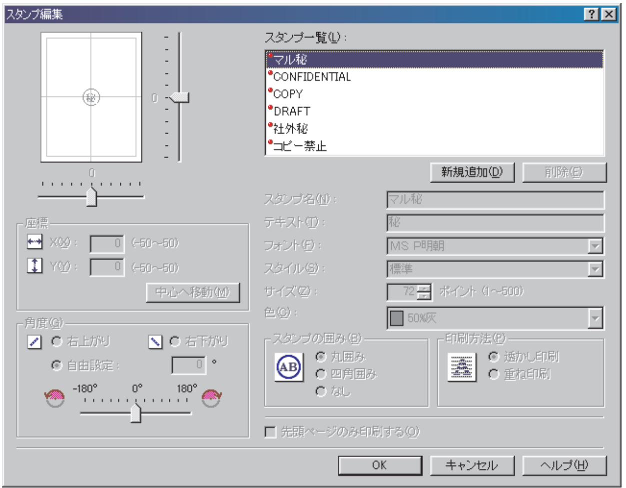
［ページオプション］は、［ページレイアウト］が［ポスター］に設定されている場合は使用できません。

［標準に戻す］　現在の設定を初期設定値に戻します。

[設定確認]　[設定確認] 画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-20）。

スタンプ編集

[ページ設定] タブの [スタンプ編集] をクリックすると、[スタンプ編集] 画面が表示されます。この画面では、登録されているスタンプを編集したり、新しくスタンプを作成することができます。[スタンプ編集] は、[ページ設定] タブで [スタンプ] にチェックマークが付いているときだけ利用できます。



[スタンプ一覧]　登録されているスタンプ名が表示されます。画面の左上に選択したスタンプの画像が表示されます。

[新規追加]　新しいスタンプを登録することができます。[スタンプ名] にスタンプ名を入力し、[OK] をクリックすると登録が完了します。登録できるスタンプは最大 50 個です。

[削除]　[スタンプ一覧] から選択したスタンプを削除します。

メモ

はじめから定義されているスタンプや、現在選択されているスタンプを削除することはできません。

[座標]　各ページに印刷するスタンプの位置を指定します。[X] および [Y] の編集ボックスに値を（－ 50 ～ 50 の範囲）入力するか、X と Y のスライドバーを使って位置を移動できます。

[中心へ移動]　スタンプをページの中央に移動します。

[角度]　スタンプの角度を、[右上がり]、[右下がり]、[自由設定] から指定します。[自由設定] を指定した場合、角度を入力するか、または、スライドバーを使って角度を設定します。

[スタンプ名]　選択しているスタンプ名を表示します。新しいスタンプを登録したり、スタンプ名を変更する場合は、スタンプ名を入力します。

[テキスト]　選択しているスタンプの文字列を表示します。新しいスタンプを登録したりスタンプの内容を変更する場合は、スタンプの文字列を入力します。

[フォント]　スタンプの文字列のフォントの種類を選択します。

[スタイル]　スタンプの文字列のフォントスタイルを選択します。利用可能なスタイルは、[標準]、[斜体]、[太字] および [太字 斜体] です。

[サイズ]　スタンプの文字列のフォントサイズを指定します（1 ～ 500）。

[色]　スタンプの文字列の色を選択します。

[スタンプの囲み]　スタンプに枠を追加します。枠の種類は [丸囲み]、[四角囲み]、または [なし] から選択できます。

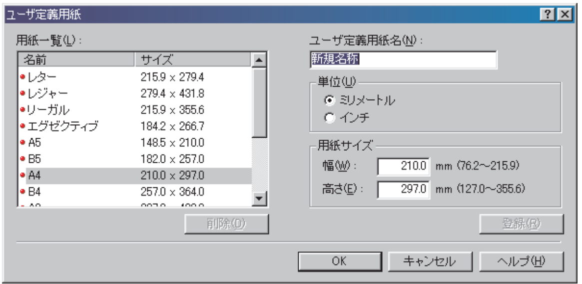
[印刷方法]	スタンプの印刷方法を、[透かし印刷] または [重ね印刷] から選択します。
[先頭ページのみ印刷する]	選択したスタンプを原稿の先頭ページにのみ印刷します。

メモ

はじめから定義されているスタンプは編集できません。

ユーザ定義用紙

[ページ設定] タブの [ユーザ定義用紙] をクリックすると、[ユーザ定義用紙] 画面が表示されます。この画面では、ユーザ定義用紙サイズを選択したり、新しいユーザ定義用紙サイズを [用紙一覧] に登録することができます。また、各サイズの名前、幅および高さの指定が可能です。定義できるユーザ定義用紙サイズは最大 50 通りです。



メモ

[ユーザ定義用紙] は、[プリンタ] フォルダから [Canon MF3200 Series のプロパティ] 画面を表示した場合にのみ設定できます。アプリケーションから表示した [プロパティ] 画面からは設定できません。

[用紙一覧]	定型用紙と登録済みのユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。

メモ

ユーザ定義用紙（[ユーザ定義用紙（名称固定）] は除く）は、お使いのコンピュータのすべてのプリンタで共通に使用できます。ユーザ定義の用紙は最大 50 通りまで登録できます。

[ユーザ定義用紙名]	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。
[単位]	用紙サイズの寸法単位を選択します（[ミリメートル] または [インチ]）。
[用紙サイズ]	ユーザ定義用紙の幅と高さを指定します。

メモ

[用紙サイズ] を指定するとき、[幅] には [高さ] より小さい値を入力してください。

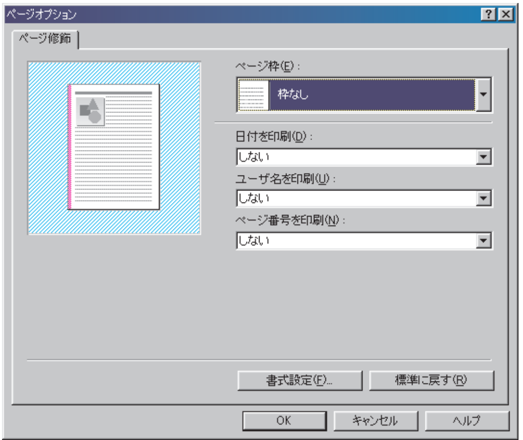
[登録]	ユーザ定義用紙を登録して、その名前を [用紙一覧] に追加します。
[削除]	[用紙一覧] から選択したユーザ定義用紙を削除します。

メモ

はじめから定義されている用紙サイズや、現在選択されている用紙サイズを削除することはできません。

ページオプション

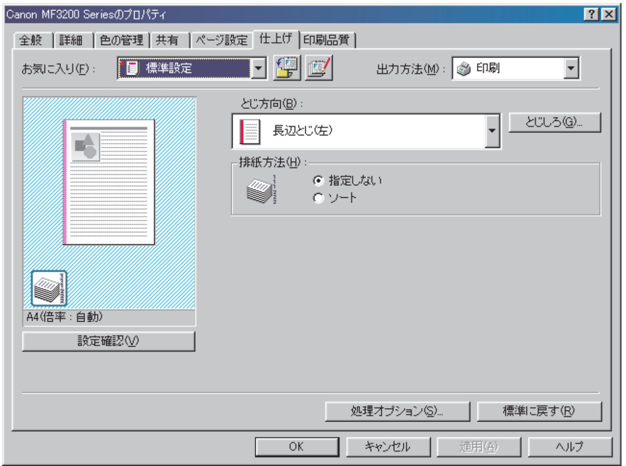
［ページ設定］タブの［ページオプション］をクリックすると、［ページオプション］画面が表示されます。この画面では、ページ枠、ヘッダおよびフッタなどの設定ができます。［ページオプション］は、［ページ設定］タブの［ページレイアウト］が［ポスター］に設定されている場合は使用できません（→［ページ設定］タブ：P.2-7）。



［ページ枠］	用紙の周囲にプリントされるページ枠を選択します。選択できるページ枠は 11 種類です。
［日付を印刷］	日付を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。日付の印刷可能位置は 6 か所です。
［ユーザ名を印刷］	コンピュータに登録されているユーザ名を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。ユーザ名の印刷可能位置は 6 か所です。
［ページ番号を印刷］	ページ番号を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。ページ番号の印刷可能位置は 6 か所です。
［書式設定］	［書式設定］画面が表示され、日付やページ番号を印刷する際のフォントの種類、スタイル、サイズおよび色を設定したり、設定を初期設定値に戻すことができます。
［標準に戻す］	現在の設定を初期設定値に戻します。

[仕上げ] タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します。
[お気に入り]、[出力方法] については、「お気に入り」(→ P.2-17) を参照してください。



[とじ方向] 印刷原稿のとじ方 (どの辺をとじるか) を設定します。

[とじしろ] [とじしろ指定] 画面が表示され、とじしろの幅を設定できます (→とじしろ設定：P.2-12)。

[排紙方法] 原稿を複数部数印刷する場合に、ソートして出力するかどうかを指定します。[ソート] を選択して 1 ～ 3 ページまでを 2 部印刷すると、1 ～ 3 ページが順に印刷されたあと、さらに続けて 1 ～ 3 ページが印刷されます。

メモ

[排紙方法] で [ソート] を選択すると、プレビュー画面の左下の画面が変わります。

[処理オプション] [処理オプション] 画面が表示され、仕上げに関する詳細設定を行うことができます (→処理オプション：P.2-13)。

[標準に戻す] 現在の設定を初期設定値に戻します。

[設定確認] [設定確認] 画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます (→設定確認：P.2-20)。

とじしろ設定

[仕上げ] タブの [とじしろ] をクリックすると、[とじしろ指定] 画面が表示されます。



[とじしろ] とじしろの範囲を 0 ～ 30mm で指定します。

処理オプション

［仕上げ］タブの［処理オプション］をクリックすると、［処理オプション］画面が表示されます。



［スーパースムーズ］　スーパースムーズ機能を設定します。

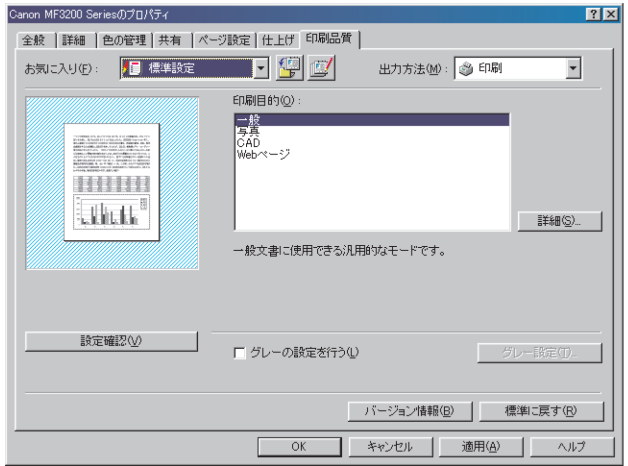
メモ

プリント解像度が 300dpi に設定されているときには、常にスーパースムーズで印刷されます。

［標準に戻す］　現在の設定を初期設定値に戻します。

［印刷品質］タブ

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します。
［お気に入り］、［出力方法］については、「お気に入り」（→ P.2-17）を参照してください。



［印刷目的］	原稿の内容に合わせて印刷目的を設定すると、最適な設定で印刷することができます。
［詳細］	［詳細設定］画面を表示して印字の詳細設定を行うことができます（→詳細設定：P.2-14）。
［グレーの設定を行う］	チェックマークを付け、［グレー設定］をクリックして画像の詳細設定が行えます（→グレー設定：P.2-15）。

[グレー設定]	[グレー設定] 画面を表示してグレーの設定を行うことができます。画像の明度やコントラスト、マッチングを調整することができます (→グレー設定 : P.2-15)。

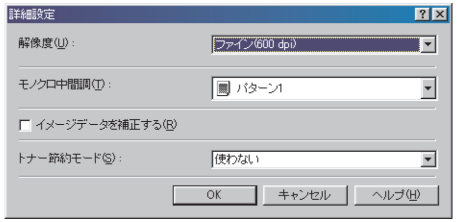
メモ

[グレー設定] は、[グレーの設定を行う] にチェックマークが付いているときだけ利用できます。

[設定確認]	[設定確認] 画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます (→設定確認 : P.2-20)。
[バージョン情報]	ドライバソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
[標準に戻す]	現在の設定を初期設定値に戻します。

詳細設定

[印刷品質] タブの [詳細] をクリックすると、[詳細設定] 画面が表示されます。この画面では、印刷品質を詳細に設定できます。



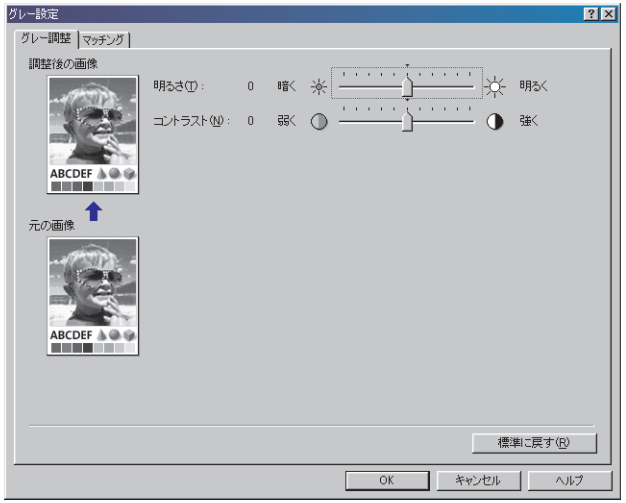
[解像度]	プリント解像度を設定します ([ファイン (600dpi)] または [クイック (300dpi)])。
[モノクロ中間調]	モノクロ中間調のデータを印刷する場合のディザパターンの種類を選択します。 [パターン 1] : 滑らかな階調で印刷を行うことができます。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。 [パターン 2] : 明暗のコントラストを効かせ、安定した質感とメリハリのある階調で印刷を行うことができます。写真画像などの印刷データイメージデータを印刷するのに適しています。 [パターン 3] : テキストデータ等の輪郭がはっきり見えるような精細な印刷を行うことができます。文字や細い線などのデータを印刷するのに適しています。 [なし (黒ベタ)] : 白以外の色を黒で印刷します。

［イメージデータを補正する］	写真やグラフィックなどのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。このような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷するときに設定します。
［トナー節約モード］	データを間引いて印刷が行われるため、印刷時のトナー使用量を節約することができます。 ［パネル優先］： プリンタの操作パネルで行った設定を使用します。 ［使わない］： 通常の印刷を行います。 ［使う］： トナーを節約して印刷します。

グレー設定

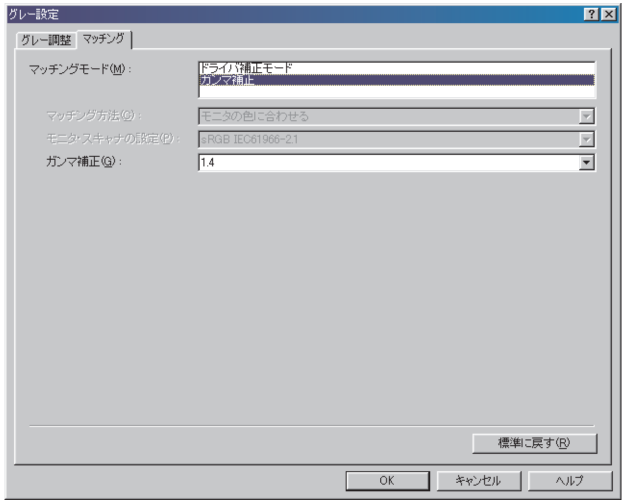
印刷品質タブの［グレー設定］をクリックすると、［グレー設定］画面が表示されます。この画面では、画像の明度とコントラストを調整することができます。［印刷品質］タブの［グレーの設定を行う］にチェックマークが付いているときに使用できます（→［印刷品質］タブ：P.2-13）。［グレー設定］画面には２つのタブがあります。

［グレー調整］タブ



［調整後の画像］	現在選択されている明度とコントラストの値で調整されたサンプル画像が表示されます。
［元の画像］	調整前のサンプル画像が表示されます。
［明るさ］	画像の明るさを、-5 ～ 5 の範囲で調整します。
［コントラスト］	画像のコントラストを、-5 ～ 5 の範囲で調整します。
［標準に戻す］	現在の設定を初期値に戻します。

［マッチング］タブ



［マッチングモード］　マッチングの設定方法を選択します。

［ドライバ補正モード］：
［マッチング方法］と［モニタ・スキャナの設定］で指定した方法で、マッチング処理を行います。

［ガンマ補正］：
［ガンマ補正］プルダウンリストで指定したガンマ値で、ガンマ補正を行います。

［マッチング方法］　［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した場合に、どの要素を優先させてマッチングを行うかを設定します。

［モニタの色に合わせる］：
モニタに表示される色味（色相）に合った出力結果となるようにマッチングを行います。

［色差最小］：
ロゴなどの原稿と出力の色の差を最小にするようにマッチングを行います。

［鮮やかな色に］：
鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

メモ

［マッチング方法］は、［マッチングモード］が［ドライバ補正モード］に設定されているときのみ選択できます。

［モニタ・スキャナの設定］　［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した場合に、使用中のモニタに合わせて適切な項目を選択できます。

メモ

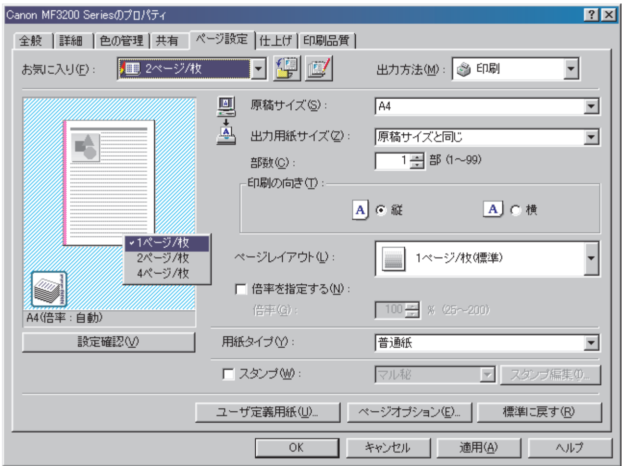
- ［モニタ・スキャナの設定］は、［マッチングモード］が［ドライバ補正モード］に設定されているときのみ選択できます。
- 印刷画像がモニタ画面より薄く感じられる場合、ガンマ値を選択できるときはガンマ値を高く設定すると画面に近い色で印刷されます。
- マッチング対象モニタ本体が初期状態の設定から変更されていると、対象モニタの発色に近づけて出力することが難しくなります。

[ガンマ補正]　[マッチングモード]で[ガンマ補正]を選択した場合に設定できます。原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。出力した結果がオリジナル画像（スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックなど）に比べて明るい場合や、明るさを変えて出力したい場合などに使用します。[1.0]、[1.4]（初期設定値）、[1.8]、[2.2]から選択できます。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。

[標準に戻す]　現在の設定を初期設定値に戻します。

お気に入り

[ページ設定]、[仕上げ]および[印刷品質]タブの設定を組み合わせて登録したものを「お気に入り」と呼んでいます。各タブのお気に入り機能を使用すると、お気に入りの追加、編集、選択ができ、印刷ジョブが簡単に設定できます。

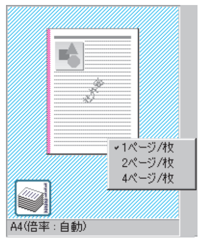


[お気に入り]　あらかじめいくつかの設定がお気に入りとして登録されています。使いたい設定をプルダウンリストから選択すると、さまざまな用途に合った印刷ができます。よく使う設定をお気に入りに登録しておくこともできます。

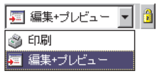
プレビュー画像　現在選択されている設定を反映した画面が表示されます。プレビュー画像内の任意の場所をクリックするたびに、[ページレイアウト]の設定値が変わります（→[ページ設定]タブ：P.2-7）。設定値は、[1 ページ / 枚（標準）]→[2 ページ / 枚]→[4 ページ / 枚]→[1 ページ / 枚（標準）]の順に変わります。
プレビュー画像を右クリックするとポップアップメニューが表示され、そのメニューから[ページレイアウト]の設定を変更することもできます。ページのプレビュー画像の端をクリックすると、とじる向きが変わります。

メモ

[印刷品質]タブでは、選択されている設定はプレビュー画像に反映されません。

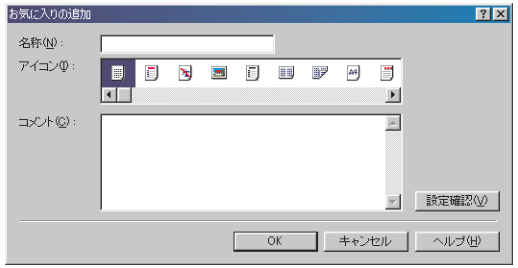


目次
索引

［出力方法］	印刷ジョブを［印刷］と［編集＋プレビュー］の間で切り替えます。
	［印刷］： 通常の印刷を行います。 ［編集＋プレビュー］： ［Canon PageComposer］画面にデータを保存します。［プリンタ］フォルダから［Canon MF3200 Series のプロパティ］画面を開き、［編集＋プレビュー］を選択すると、（ロック）ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、［編集＋プレビュー］モードがロックされます。
 （お気に入りの追加）	［お気に入りの追加］画面を表示して、新しい［お気に入り］を追加することができます（→お気に入りの追加：P.2-18）。
 （お気に入りの編集）	［お気に入りの編集］画面を表示して、保存されている［お気に入り］の名称やアイコンの種類、コメントを編集することができます（→お気に入りの編集：P.2-19）。
［設定確認］	［設定確認］画面が表示され、選択されたお気に入りの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-20）。

お気に入りの追加

（お気に入りの追加）をクリックすると、［お気に入りの追加］画面が表示されます。この画面では、現在の設定を新しいお気に入りとして登録できます。追加できるお気に入りは最大 50 個です。

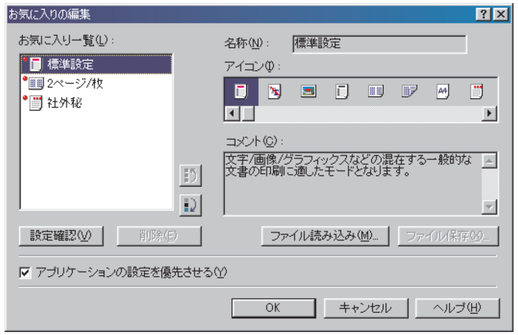


［名称］	追加する「お気に入り」の名称を入力します。
［アイコン］	追加する「お気に入り」のアイコンを選択します。
［コメント］	追加する「お気に入り」に関するコメントを入力します。
［設定確認］	［設定確認］画面が表示され、選択されたお気に入りの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-20）。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

お気に入りの編集

（お気に入りの編集）をクリックすると、[お気に入りの編集] 画面が表示されます。この画面では、[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを編集できます。



[お気に入り一覧]　登録されているお気に入りが一覧表示されます。

[設定確認]　[設定確認] 画面が表示され、選択されたお気に入りの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-20）。

（上へ）　[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ上へ移動します。

（下へ）　[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ下へ移動します。

[削除]　[お気に入り一覧] から選択したお気に入りを削除します。

メモ

はじめから定義されているお気に入りや、現在選択されているお気に入りを削除することはできません。

[名称]　追加または編集する「お気に入り」の名称を入力します。

メモ

はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、名称は変更できません。

[アイコン]　追加または編集する「お気に入り」のアイコンを選択します。

メモ

はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、アイコンは変更できません。

[コメント]　追加または編集する「お気に入り」に関するコメントを入力します。

メモ

はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、コメントは変更できません。

[ファイル読み込み]　ファイルとして保存されている「お気に入り」の項目を読み込み、[お気に入り一覧] に追加します。

[ファイル保存]　[お気に入り一覧] で選択されている項目をファイルとして保存します。

メモ

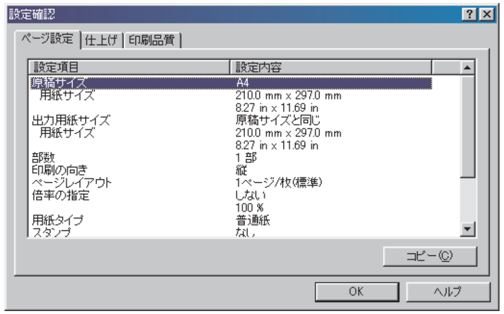
はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、このボタンをクリックすることはできません。

[アプリケーションの設定を優先させる]　チェックマークを付けると、[原稿サイズ]、[印刷の向き] および [部数] はアプリケーションの印刷画面での設定が有効になります。

目次
索引

設定確認

［設定確認］をクリックすると、［設定確認］画面が表示されます。この画面には、［ページ設定］、［仕上げ］および［印刷品質］タブの現在の設定が表示されます。



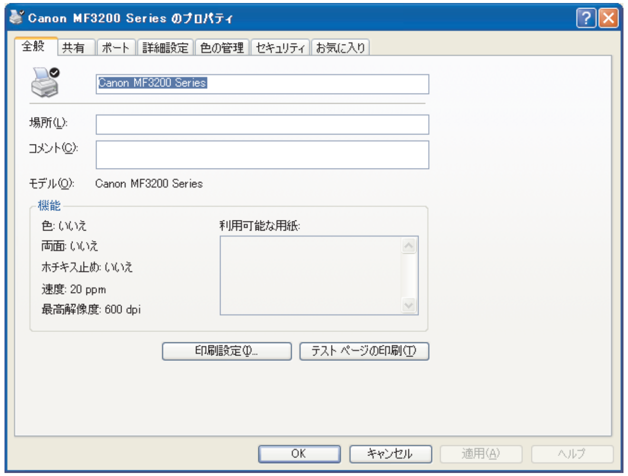
［コピー］	現在の設定内容がクリップボードにコピーされます。

Windows 2000/XP でのプリンタのプロパティ画面と印刷設定画面

Windows 2000/XP 版のプリンタドライバには、次の２つの主要な画面があります。

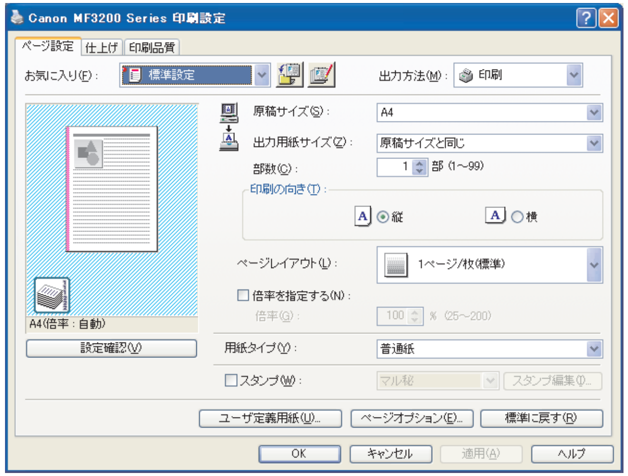
［プロパティ］画面

この画面では、プリンタの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用の印刷条件を設定できます。



［印刷設定］画面

この画面では、本製品での印刷時に使用できる印刷オプションの初期設定を指定できます。



お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

プリンタのプロパティ

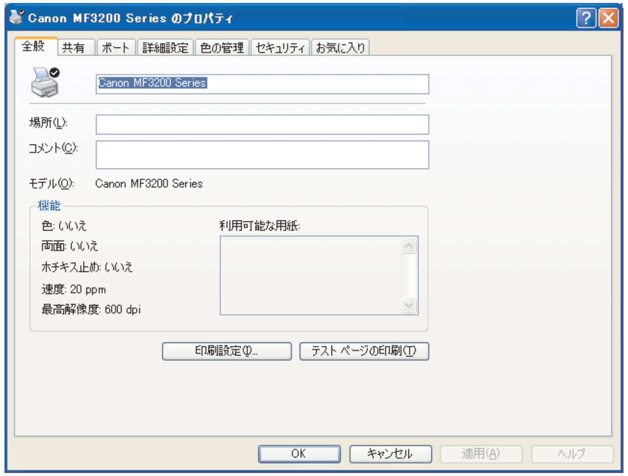
［Canon MF3200 Series のプロパティ］画面には、プリンタの設定や、印刷条件を設定するためのタブがあります。

メモ

- ［プロパティ］画面に表示されるタブの数は、お使いの環境によって異なります。
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください。（→オンラインヘルプ：P.1-2）
- 画面は Windows XP を使用しています。

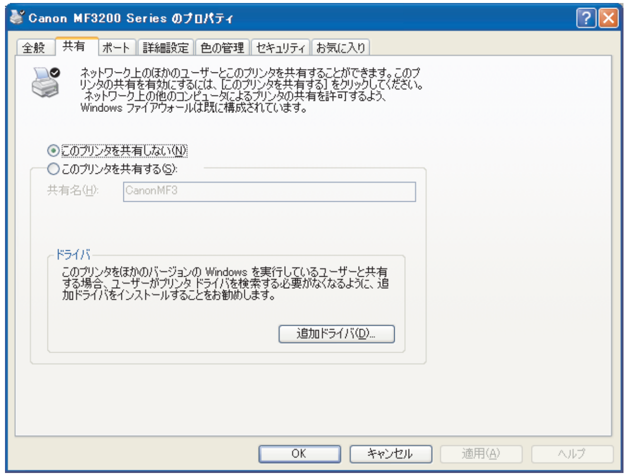
［全般］タブ

テストページの印刷や印刷設定が行えます。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



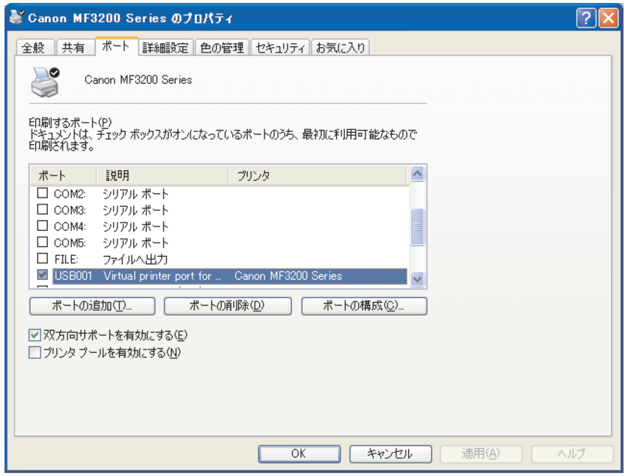
［共有］タブ

プリンタの共有の設定値を指定します。このタブは、共有設定が有効になっている場合のみ利用できます。（→本製品をネットワーク上で使用する：P.2-41）
詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



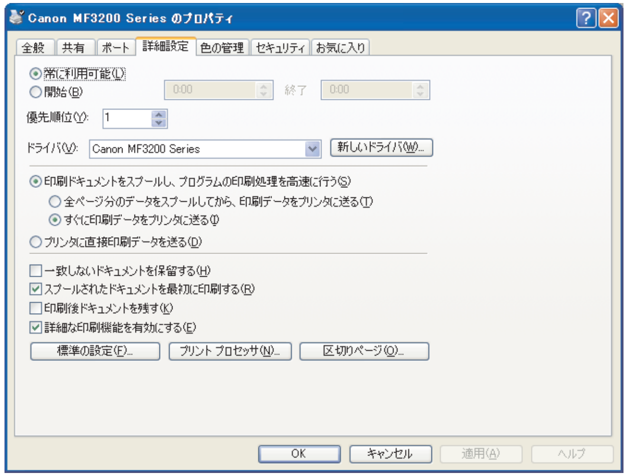
［ポート］タブ

プリンタの接続先のポートを指定します。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



［詳細設定］タブ

印刷時のスプール機能の設定を指定します。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。

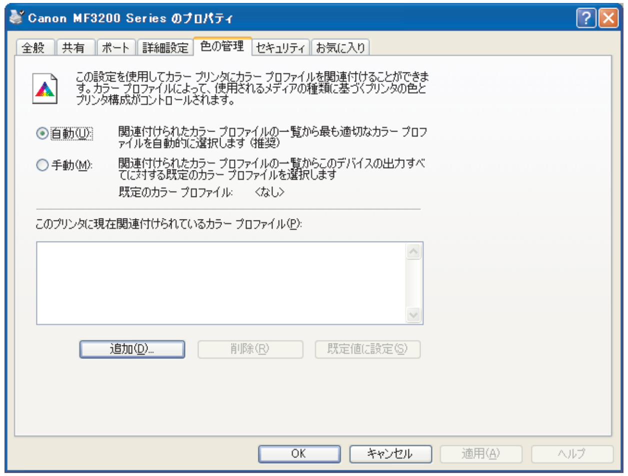


メモ

［印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う］および［すぐに印刷データをプリンタに送る］は、プリンタドライバのインストール時に自動的に有効（オン）に設定されます。

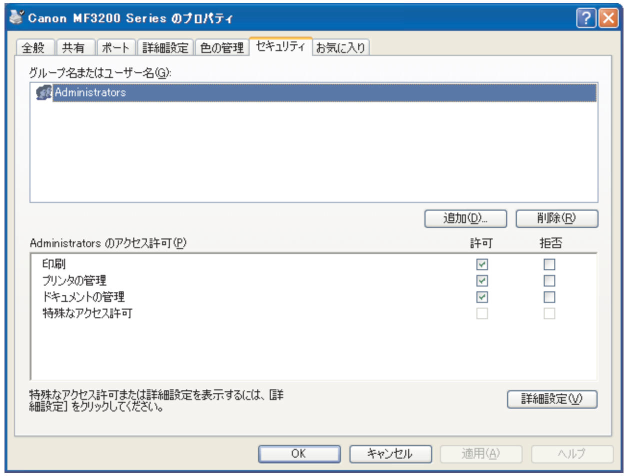
［色の管理］タブ

カラープロファイルをプリンタに関連付けます。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



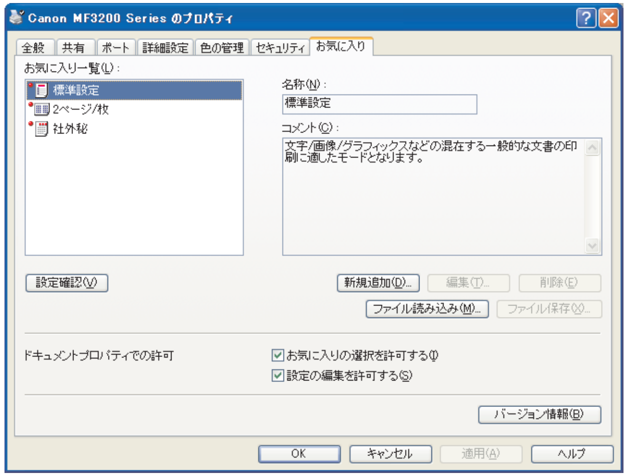
［セキュリティ］タブ

セキュリティ設定を指定します。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



[お気に入り] タブ

印刷ジョブに適用するお気に入りを追加、編集、選択することができます。



[お気に入り一覧]	登録されているお気に入りが一覧表示されます。
[名称]	[お気に入り一覧] で現在選択されているお気に入りの名前が表示されます。
[コメント]	現在選択されているお気に入りの説明が表示されます。
[設定確認]	[設定確認] 画面が表示され、選択されたお気に入りの設定内容を一覧で確認できます (→設定確認：P.2-40)。
[新規追加]	[お気に入りの追加 / 編集] 画面が表示され、新しいお気に入りを追加できます (→お気に入りの追加 / 編集：P.2-26)。
[編集]	[お気に入りの追加 / 編集] 画面が表示され、登録されたお気に入りを編集できます (→お気に入りの追加 / 編集：P.2-26)。

メモ

はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、編集することはできません。

[削除]	[お気に入り一覧] から選択したお気に入りを削除します。

メモ

はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、削除することはできません。

[ファイル読み込み]	ファイルとして保存されている「お気に入り」の項目を読み込み、[お気に入り一覧] に追加します。
[ファイル保存]	[お気に入り一覧] で選択されている項目をファイルとして保存します。

メモ

はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、このボタンをクリックすることはできません。

[ドキュメントプロパティでの許可]	[お気に入りの選択を許可する]： 印刷設定の画面でお気に入りを選択できるようにします。 [設定の編集を許可する]： お気に入りの追加、編集および選択が行えるようにします。

メモ

[お気に入りの選択を許可する] のチェックマークを外すと、[設定の編集を許可する] が使用できなくなります。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

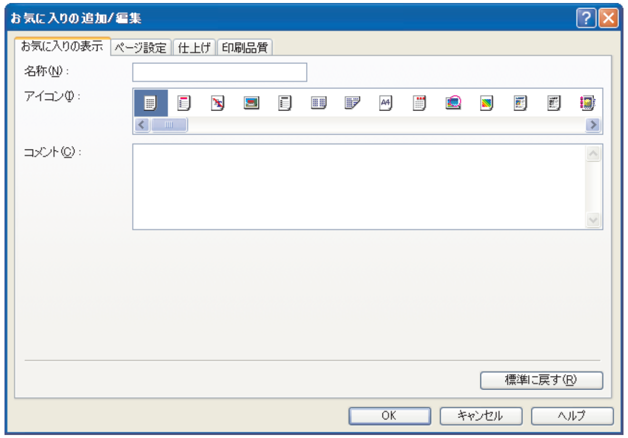
[バージョン情報]　ドライバソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

お気に入りの追加 / 編集

[新規追加] または [編集] をクリックすると、新しいお気に入りの登録や既存のお気に入りの編集が行える [お気に入りの追加 / 編集] 画面が表示されます。この画面には、4 つのタブがあります。

[お気に入りの表示] タブ

[お気に入りの表示] タブでは、お気に入りの名称、アイコンおよびコメントを指定できます。



[名称]　追加または編集する「お気に入り」の名称を入力します。

[アイコン]　追加または編集する「お気に入り」のアイコンを選択します。

[コメント]　追加または編集する「お気に入り」に関するコメントを入力します。

[標準に戻す]　現在の設定を [お気に入りの表示] タブを表示したときの状態に戻します。

[ページ設定] タブ

用紙サイズ、拡大縮小倍率、部数、印刷の向き、1 枚の用紙に印刷するページ数などのページ設定を指定します (→ [ページ設定] タブ：P.2-27)。

[仕上げ] タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します (→ [仕上げ] タブ：P.2-32)。

[印刷品質] タブ

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します (→ [印刷品質] タブ：P.2-34)。

目次
索引

■ 印刷設定

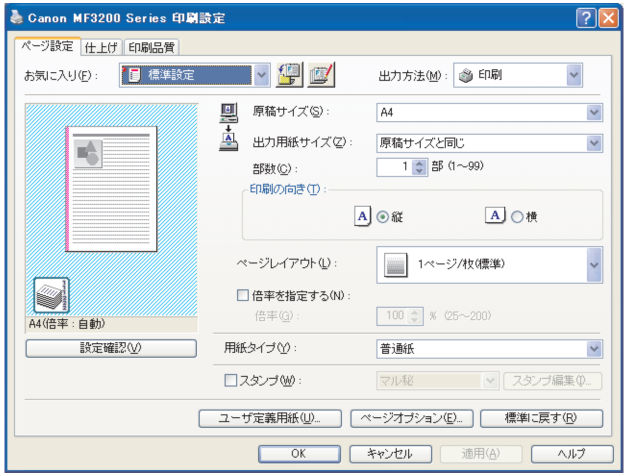
［Canon MF3200 Series 印刷設定］画面には、すべての印刷ジョブに対する標準の印刷設定を指定できる、３つのタブがあります。

メモ

- アプリケーションの［印刷］画面から画面を表示した場合、選択した印刷設定は同じアプリケーションから表示されているジョブすべてに適用されます。
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください。（→オンラインヘルプ：P.1-2）
- 画面は Windows XP を使用しています。

［ページ設定］タブ

用紙サイズ、拡大縮小倍率、部数、印刷の向き、１枚の用紙に印刷するページ数など、ページ設定を指定します。
［お気に入り］、［出力方法］については、「お気に入り」（→ P.2-37）を参照してください。



プレビュー画像　現在選択されている設定値を反映した画像が表示されます。プレビュー画像の詳細については、「プレビュー画像」（→ P.2-37）を参照してください。

［原稿サイズ］　アプリケーションで作成した原稿サイズを選択します。選択できるサイズは［レター］、［レジャー］、［リーガル］、［エグゼクティブ］、［A5］、［B5］、［A4］、［B4］、［A3］、［封筒 洋形２号］、［封筒 洋形４号］、［はがき］、［往復はがき］および［ユーザ定義（名称固定）］です。ただし、［原稿サイズ］に［レジャー］、［B4］、または［A3］を設定すると、［A4］サイズに収まるように元の原稿サイズが自動的に縮小されます。

［出力用紙サイズ］　印刷する用紙サイズを選択します。［原稿サイズと同じ］以外に設定すると、選択した用紙サイズに収まるように自動的に拡大／縮小して印刷されます。

メモ

［ユーザ定義用紙］画面で、用紙サイズを定義できます（→ユーザ定義用紙：P.2-30）。

［部数］　印刷する部数を指定します（1 ～ 99 部）。

［印刷の向き］　印刷する用紙の向きを指定します（［縦］または［横］）。

［ページレイアウト］　用紙１枚当たりに印刷する原稿の枚数（1、2、4、6、8、9、16 枚）、または、画像を拡大して複数枚の用紙に分割して印刷するポスター印刷の設定をします。［1 ページ / 枚（標準）］および［ポスター］以外に指定すると、選択したページレイアウトに収まるように自動的に縮小されて印刷されます。

メモ

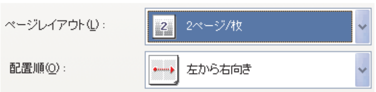
- ［ポスター］を選択すると、［倍率を指定する］、［スタンプ］および［ページオプション］が選択できなくなります。
- ［1ページ/枚（標準）］を選択すると［倍率を指定する］が表示されます。［1ページ/枚（標準）］および［ポスター］以外に設定すると、［倍率を指定する］の代わりに、［配置順］が表示されます。

［倍率を指定する］　拡大/縮小して印刷する場合の倍率を指定します。チェックマークを付けると、右側の編集ボックスが使用可能になり、倍率（25 ～ 200 %）を指定できます。

メモ

アプリケーションソフトの［印刷］画面で拡大／縮小率を設定できる場合、プリンタドライバでは 100%に設定し、アプリケーションソフトで目的の拡大／縮小率を設定してください。

［配置順］　1枚の用紙に複数の原稿を印刷する場合に、用紙に原稿を配置する順序を選択します。



［用紙タイプ］　印刷する用紙の種類を選択します。利用可能な用紙の種類は次のとおりです。
- 普通紙（64 ～ 90g/m^2）
- 普通紙 L
- 厚紙
- 厚紙 H
- OHP フィルム

メモ

- ［普通紙］の設定でプリントした結果、用紙がひどくカールする場合は、［普通紙 L］に設定してください。
- ［厚紙］の設定で十分なプリント結果が得られなかった場合は、［厚紙 H］に設定してください。
- 原稿サイズで［封筒洋形２号］または［封筒洋形４号］を選択し、出力用紙サイズで［原稿サイズと同じ］を選択すると、［用紙タイプ］は自動的に［封筒］に設定されます。
  また、出力用紙サイズで［封筒洋形２号］または［封筒洋形４号］を選択すると、原稿サイズの設定にかかわらず、［用紙タイプ］は自動的に［封筒］に設定されます。
- 原稿サイズで［はがき］または［往復はがき］を選択し、出力用紙サイズで［原稿サイズと同じ］を選択すると、［用紙タイプ］は自動的に［はがき］に設定されます。
  また、出力用紙サイズで［はがき］または［往復はがき］を選択すると、原稿サイズの設定にかかわらず、［用紙タイプ］は自動的に［はがき］に設定されます。

［スタンプ］　選択したスタンプを各ページに付けて印刷します。６種類のスタンプが用意されています。［スタンプ編集］でスタンプを追加することもできます。
- マル秘
- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- コピー禁止

［スタンプ］にチェックマークを付けると、［スタンプ編集］が利用できます。

メモ

［スタンプ］は、［ページレイアウト］が［ポスター］に設定されている場合は使用できません。

［スタンプ編集］　［スタンプ編集］画面を表示して、スタンプ印刷の詳細設定を行います（→スタンプ編集：P.2-29）。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

[ユーザ定義用紙]　[ユーザ定義用紙]画面を表示して、独自のサイズの用紙を設定します（→ユーザ定義用紙：P.2-30）。

メモ

[ユーザ定義用紙]は、[プリンタとFAX]フォルダ（Windows 2000の場合は[プリンタ]フォルダ）から[Canon MF3200 Series 印刷設定]画面を表示した場合にのみ設定できます。アプリケーションから表示した[プロパティ]画面からは設定できません。

[ページオプション]　日付やページ番号を印刷したり、用紙に枠を付けて印刷したい場合などに使用します（→ページオプション：P.2-31）。

メモ

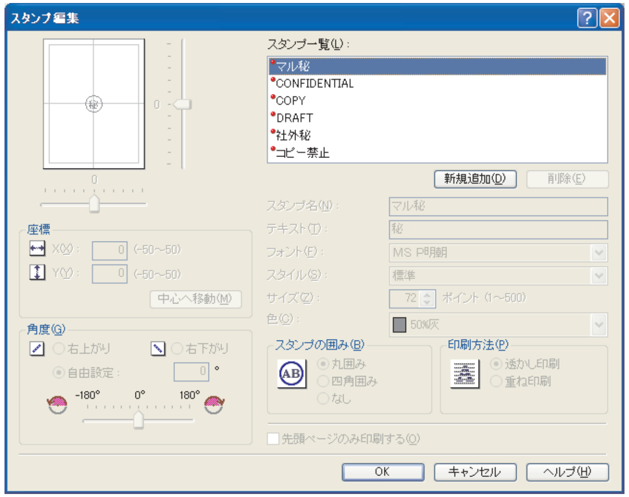
[ページオプション]は、[ページレイアウト]が[ポスター]に設定されている場合は使用できません。

[標準に戻す]　現在の設定を初期設定値に戻します。

[設定確認]　[設定確認]画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-40）。

スタンプ編集

[ページ設定]タブの[スタンプ編集]をクリックすると、[スタンプ編集]画面が表示されます。この画面では、登録されているスタンプを編集したり、新しくスタンプを作成することができます。[スタンプ編集]は、[ページ設定]タブで[スタンプ]にチェックマークが付いているときだけ利用できます。



[スタンプ一覧]　登録されているスタンプ名が表示されます。画面の左上に選択したスタンプの画像が表示されます。

[新規追加]　新しいスタンプを登録することができます。[スタンプ名]にスタンプ名を入力し、[OK]をクリックすると登録が完了します。登録できるスタンプは最大50個です。

[削除]　[スタンプ一覧]から選択したスタンプを削除します。

目次
索引

メモ

はじめから定義されているスタンプや、現在選択されているスタンプを削除することはできません。

[座標]	各ページに印刷するスタンプの位置を指定します。[X] および [Y] の編集ボックスに値を(− 50 〜 50 の範囲)入力するか、X と Y のスライドバーを使って位置を移動できます。
[中心へ移動]	スタンプをページの中央に移動します。
[角度]	スタンプの角度を、[右上がり]、[右下がり]、[自由設定] から指定します。[自由設定] を指定した場合、角度を入力するか、または、スライドバーを使って角度を設定します。
[スタンプ名]	選択しているスタンプ名を表示します。 新しいスタンプを登録したり、スタンプ名を変更する場合は、スタンプ名を入力します。
[テキスト]	選択しているスタンプの文字列を表示します。 新しいスタンプを登録したりスタンプの内容を変更する場合は、スタンプの文字列を入力します。
[フォント]	スタンプの文字列のフォントの種類を選択します。
[スタイル]	スタンプの文字列のフォントスタイルを選択します。利用可能なスタイルは、[標準]、[斜体]、[太字] および [太字 斜体] です。
[サイズ]	スタンプの文字列のフォントサイズを指定します (1 〜 500)。
[色]	スタンプの文字列の色を選択します。
[スタンプの囲み]	スタンプに枠を追加します。枠の種類は [丸囲み]、[四角囲み]、または [なし] から選択できます。
[印刷方法]	スタンプの印刷方法を、[透かし印刷] または [重ね印刷] から選択します。
[先頭ページのみ印刷する]	選択したスタンプを原稿の先頭ページにのみ印刷します。

メモ

はじめから定義されているスタンプは編集できません。

ユーザ定義用紙

[ページ設定] タブの [ユーザ定義用紙] をクリックすると、[ユーザ定義用紙] 画面が表示されます。この画面では、ユーザ定義用紙サイズを選択したり、新しいユーザ定義用紙サイズを [用紙一覧] に登録することができます。また、各サイズの名前、幅および高さの指定が可能です。



メモ

[ユーザ定義用紙] は、[プリンタと FAX] フォルダ (Windows 2000 の場合は [プリンタ] フォルダ) から [Canon MF3200 Series 印刷設定] 画面を表示した場合にのみ設定できます。アプリケーションから表示した [プロパティ] 画面からは設定できません。

[用紙一覧]	定型用紙と登録済みのユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。

メモ

ユーザ定義用紙 ([ユーザ定義用紙 (名称固定)] は除く) は、お使いのコンピュータのすべてのプリンタで共通に使用できます。

[ユーザ定義用紙名]	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。
[単位]	用紙サイズの寸法単位を選択します（[ミリメートル]または[インチ]）。
[用紙サイズ]	ユーザ定義用紙の幅と高さを指定します。

メモ

[用紙サイズ]を指定するとき、[幅]には[高さ]より小さい値を入力してください。

[登録]	ユーザ定義用紙を登録して、その名前を[用紙一覧]に追加します。

メモ

新しく[ユーザ定義用紙]を登録するには、管理者権限を持つユーザ（Windows 2000/XP）またはパワー・ユーザ（Windows 2000 のみ）としてログオンする必要があります。現在の[ユーザ定義用紙]を変更するには、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

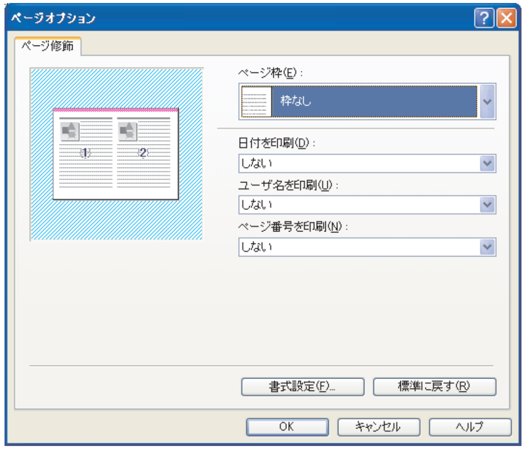
[削除]	[用紙一覧]から選択したユーザ定義用紙を削除します。

メモ

- はじめから定義されている用紙サイズや、現在選択されている用紙サイズを削除することはできません。
- 登録されているユーザ定義用紙サイズを削除するには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。

ページオプション

[ページ設定]タブの[ページオプション]をクリックすると、[ページオプション]画面が表示されます。この画面では、ページ枠、ヘッダおよびフッタなどの設定ができます。[ページオプション]は、[ページ設定]タブの[ページレイアウト]が[ポスター]に設定されている場合は使用できません（→[ページ設定]タブ：P.2-27）。

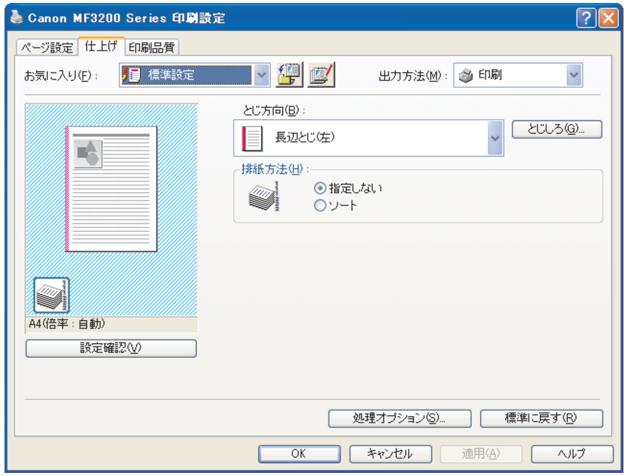


[ページ枠]	用紙の周囲にプリントされるページ枠を選択します。選択できるページ枠は 11 種類です。[印刷品質]タブの[グレー調整サンプルプリント]にチェックマークが付いているときは使用できません（→[グレー調整サンプルプリント]：P.2-34）。
[日付を印刷]	日付を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。日付の印刷可能位置は 6 か所です。
[ユーザ名を印刷]	コンピュータに登録されているユーザ名を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。ユーザ名の印刷可能位置は 6 か所です。

［ページ番号を印刷］	ページ番号を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。ページ番号の印刷可能位置は 6 か所です。
［書式設定］	［書式設定］画面が表示され、日付やページ番号を印刷する際のフォントの種類、スタイル、サイズおよび色を設定したり、設定を初期設定値に戻すことができます。
［標準に戻す］	現在の設定を初期設定値に戻します。

［仕上げ］タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します。［お気に入り］、［出力方法］については、「お気に入り」（→ P.2-37）を参照してください。



プレビュー画像	現在選択されている設定値を反映した画面が表示されます。プレビュー画像の詳細については、「プレビュー画像」（→ P.2-37）を参照してください。
［とじ方向］	印刷原稿のとじ方（どの辺をとじるか）を設定します。
［とじしろ］	［とじしろ指定］画面が表示され、とじしろの幅を設定できます（→とじしろ設定：P.2-33）。
［排紙方法］	原稿を複数部数印刷する場合に、ソートして出力するかどうかを指定します。［ソート］を選択して 1 ～ 3 ページまでを 2 部印刷すると、1 ～ 3 ページが順に印刷されたあと、さらに続けて 1 ～ 3 ページが印刷されます。

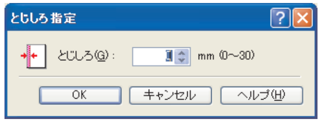
メモ

［排紙方法］で［ソート］を選択すると、プレビュー画面の左下の画面が変わります。

［処理オプション］	［処理オプション］画面が表示され、仕上げに関する詳細設定を行うことができます（→処理オプション：P.2-33）。
［標準に戻す］	現在の設定を初期設定値に戻します。
［設定確認］	［設定確認］画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-40）。

とじしろ設定

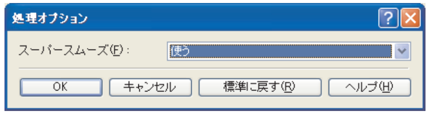
［仕上げ］タブの［とじしろ］をクリックすると、［とじしろ指定］画面が表示されます。



［とじしろ］	とじしろの範囲を 0 ～ 30mm で指定します。

処理オプション

［仕上げ］タブの［処理オプション］をクリックすると、［処理オプション］画面が表示されます。



［スーパースムーズ］	スーパースムーズ機能を設定します。

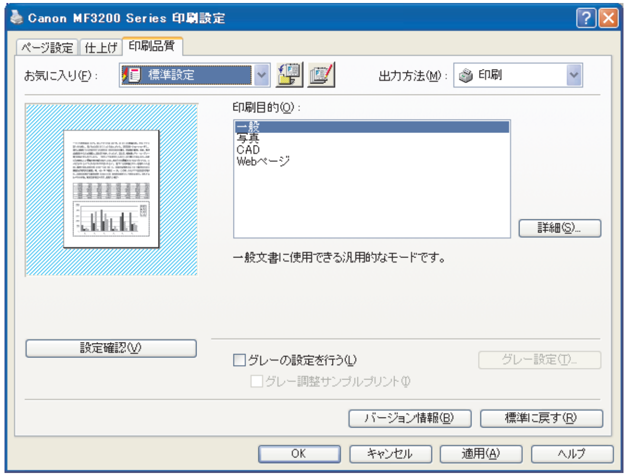
メモ

プリント解像度が 300dpi に設定されているときには、常にスーパースムーズで印刷されます。

［標準に戻す］	現在の設定を初期設定値に戻します。

[印刷品質] タブ

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します。
[お気に入り]、[出力方法] については、「お気に入り」(→ P.2-37) を参照してください。



[印刷目的]	原稿の内容に合わせて印刷目的を設定すると、最適な設定で印刷することができます。
[詳細]	[詳細設定] 画面を表示して印字の詳細設定を行うことができます (→詳細設定 : P.2-34)。
[グレーの設定を行う]	チェックマークを付け、[グレー設定] をクリックして画像の詳細設定が行えます (→グレー設定 : P.2-35)。
[グレー調整サンプルプリント]	現在のグレー設定で、9 つの異なるサンプル画像を 1 枚の用紙に印刷することができます。

メモ
[グレー調整サンプルプリント] は、[グレーの設定を行う] にチェックマークが付いているときだけ利用できます。

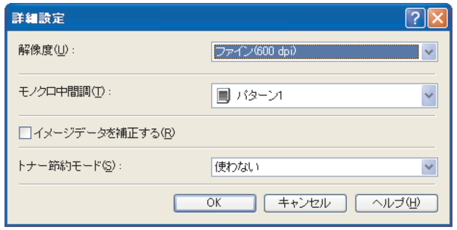
[グレー設定]	[グレー設定] 画面を表示してグレーの設定を行うことができます。画像の明度やコントラスト、マッチングを調整することができます (→グレー設定 : P.2-35)。

メモ
[グレー設定] は、[グレーの設定を行う] にチェックマークが付いているときだけ利用できます。

[設定確認]	[設定確認] 画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます (→設定確認 : P.2-40)。
[バージョン情報]	ドライバソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
[標準に戻す]	現在の設定を初期設定値に戻します。

詳細設定

[印刷品質] タブの [詳細] をクリックすると、[詳細設定] 画面が表示されます。この画面では、印刷品質を詳細に設定できます。



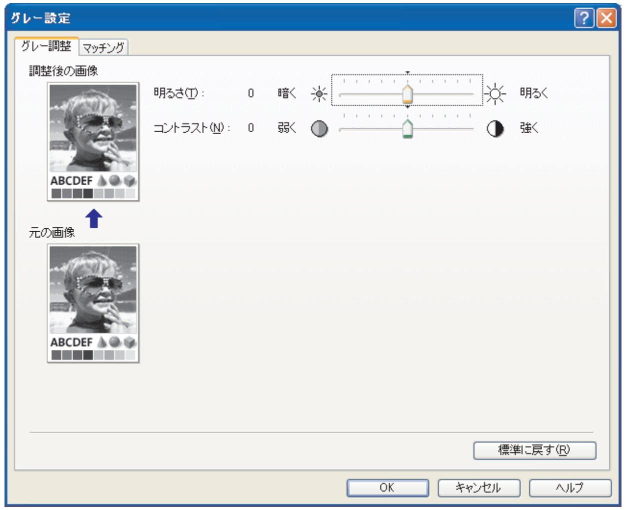
[解像度]	プリント解像度を設定します ([ファイン (600dpi)] または [クイック (300dpi)])。

［モノクロ中間調］	モノクロ中間調のデータを印刷する場合のディザパターンの種類を選択します。 ［パターン１］： 滑らかな階調で印刷を行うことができます。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。 ［パターン２］： 明暗のコントラストを効かせ、安定した質感とメリハリのある階調で印刷を行うことができます。写真画像などの印刷データイメージデータを印刷するのに適しています。 ［パターン３］： テキストデータ等の輪郭がはっきり見えるような精細な印刷を行うことができます。文字や細い線などのデータを印刷するのに適しています。 ［なし（黒ベタ）］： 白以外の色を黒で印刷します。
［イメージデータを補正する］	写真やグラフィックなどのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。このような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷するときに設定します。
［トナー節約モード］	データを間引いて印刷が行われるため、印刷時のトナー使用量を節約することができます。 ［パネル優先］： プリンタの操作パネルで行った設定を使用します。 ［使わない］： 通常の印刷を行います。 ［使う］： トナーを節約して印刷します。

グレー設定

印刷品質タブの［グレー設定］をクリックすると、［グレー設定］画面が表示されます。この画面では、画像の明度とコントラストを調整することができます。［印刷品質］タブの［グレーの設定を行う］にチェックマークが付いているときに使用できます（→［印刷品質］タブ：P.2-34）。［グレー設定］画面には２つのタブがあります。

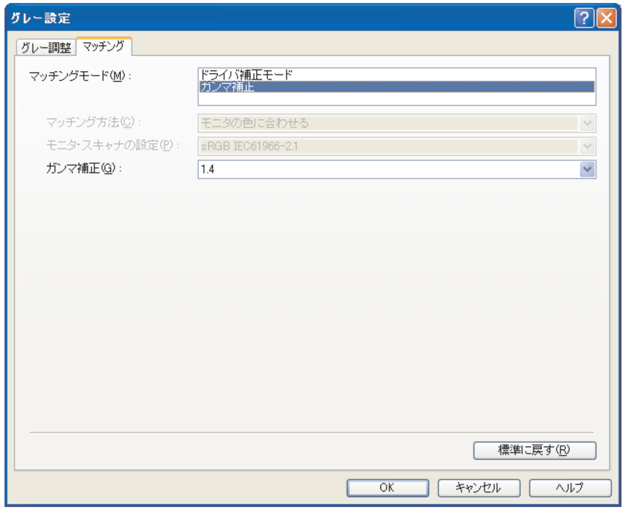
［グレー調整］タブ



［調整後の画像］	現在選択されている明度とコントラストの値で調整されたサンプル画像が表示されます。
［元の画像］	調整前のサンプル画像が表示されます。
［明るさ］	画像の明るさを、-5 ～ 5 の範囲で調整します。
［コントラスト］	画像のコントラストを、-5 ～ 5 の範囲で調整します。
［標準に戻す］	現在の設定を初期値に戻します。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

[マッチング] タブ



[マッチングモード]　マッチングの設定方法を選択します。

[ドライバ補正モード]：
[マッチング方法] と [モニタ・スキャナの設定] で指定した方法で、マッチング処理を行います。

[ガンマ補正]：
[ガンマ補正] プルダウンリストで指定したガンマ値で、ガンマ補正を行います。

[マッチング方法]　[マッチングモード] で [ドライバ補正モード] を選択した場合に、どの要素を優先させてマッチングを行うかを設定します。

[モニタの色に合わせる]：
モニタに表示される色味 (色相) に合った出力結果となるようにマッチングを行います。

[色差最小]：
ロゴなどの原稿と出力の色の差を最小にするようにマッチングを行います。

[鮮やかな色に]：
鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

メモ

[マッチング方法] は、[マッチングモード] が [ドライバ補正モード] に設定されているときのみ選択できます。

[モニタ・スキャナの設定]　[マッチングモード] で [ドライバ補正モード] を選択した場合に、使用中のモニタに合わせて適切な項目を選択できます。

メモ

- [モニタ・スキャナの設定] は、[マッチングモード] が [ドライバ補正モード] に設定されているときのみ選択できます。
- 印刷画像がモニタ画面より薄く感じられる場合、ガンマ値を選択できるときはガンマ値を高く設定すると画面に近い色で印刷されます。
- マッチング対象モニタ本体が初期状態の設定から変更されていると、対象モニタの発色に近づけて出力することが難しくなります。

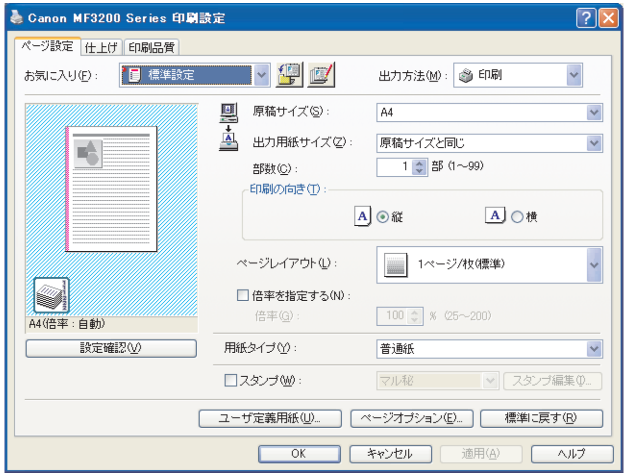
目次
索引

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

[ガンマ補正]	[マッチングモード]で[ガンマ補正]を選択した場合に設定できます。原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。出力した結果がオリジナル画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックなど)に比べて明るい場合や、明るさを変えて出力したい場合などに使用します。[1.0]、[1.4](初期設定値)、[1.8]、[2.2]から選択できます。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。
[標準に戻す]	現在の設定を初期設定値に戻します。

お気に入り

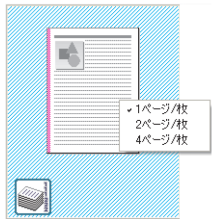
[ページ設定]、[仕上げ]および[印刷品質]タブの設定を組み合わせて登録したものを「お気に入り」と呼んでいます。各タブのお気に入り機能を使用すると、お気に入りの追加、編集、選択ができ、印刷ジョブが簡単に設定できます。



[お気に入り]	あらかじめいくつかの設定がお気に入りとして登録されています。使いたい設定をプルダウンリストから選択すると、さまざまな用途に合った印刷ができます。よく使う設定をお気に入りに登録しておくこともできます。
プレビュー画像	現在選択されている設定を反映した画面が表示されます。プレビュー画像内の任意の場所をクリックするたびに、[ページレイアウト]の設定値が変わります(→[ページ設定]タブ:P.2-27)。設定値は、[1ページ/枚(標準)]→[2ページ/枚]→[4ページ/枚]→[1ページ/枚(標準)]の順に変わります。 プレビュー画像を右クリックするとポップアップメニューが表示され、そのメニューから[ページレイアウト]の設定を変更することもできます。ページのプレビュー画像の端をクリックすると、とじる向きが変わります。

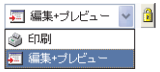
メモ

[印刷品質]タブでは、選択されている設定はプレビュー画像に反映されません。



目次
索引

［出力方法］　印刷ジョブを［印刷］と［編集＋プレビュー］の間で切り替えます。



［印刷］：
通常の印刷を行います。

［編集＋プレビュー］：
［Canon PageComposer］画面にデータを保存します。［プリンタ］フォルダから［Canon MF3200 Series のプロパティ］画面を開き、［編集＋プレビュー］を選択すると、（ロック）ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、［編集＋プレビュー］モードがロックされます。

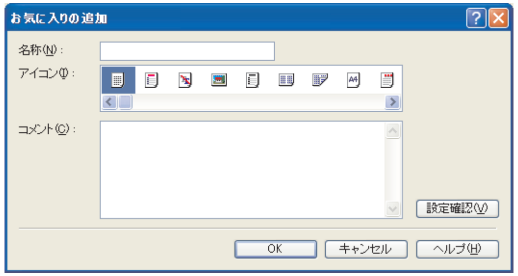

（お気に入りの追加）　［お気に入りの追加］画面を表示して、新しい［お気に入り］を追加することができます（→お気に入りの追加：P.2-38）。


（お気に入りの編集）　［お気に入りの編集］画面を表示して、保存されている［お気に入り］の名称やアイコンの種類、コメントを編集することができます（→お気に入りの編集：P.2-39）。

［設定確認］　［設定確認］画面が表示され、選択されたお気に入りの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-40）。

お気に入りの追加

（お気に入りの追加）をクリックすると、［お気に入りの追加］画面が表示されます。この画面では、現在の設定を新しいお気に入りとして登録できます。追加できるお気に入りは最大 50 個です。



［名称］　追加する「お気に入り」の名称を入力します。

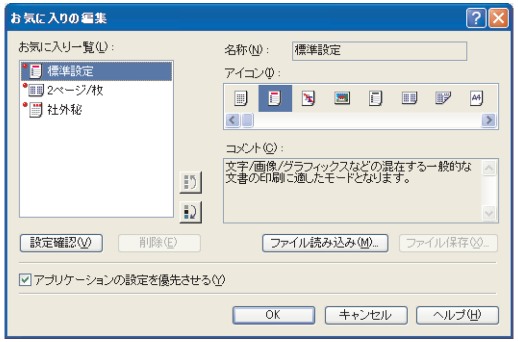
［アイコン］　追加する「お気に入り」のアイコンを選択します。

［コメント］　追加する「お気に入り」に関するコメントを入力します。

［設定確認］　［設定確認］画面が表示され、選択されたお気に入りの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-40）。

お気に入りの編集

（お気に入りの編集）をクリックすると、［お気に入りの編集］画面が表示されます。この画面では、［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを編集できます。



［お気に入り一覧］　登録されているお気に入りが一覧表示されます。

［設定確認］　［設定確認］画面が表示され、選択されたお気に入りの設定内容を一覧で確認できます（→設定確認：P.2-40）。

（上へ）　［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを１つ上へ移動します。

（下へ）　［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを１つ下へ移動します。

［削除］　［お気に入り一覧］から選択したお気に入りを削除します。

メモ
はじめから定義されているお気に入りや、現在選択されているお気に入りを削除することはできません。

［名称］　追加または編集する「お気に入り」の名称を入力します。

メモ
はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、名称は変更できません。

［アイコン］　追加または編集する「お気に入り」のアイコンを選択します。

メモ
はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、アイコンは変更できません。

［コメント］　追加または編集する「お気に入り」に関するコメントを入力します。

メモ
はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、コメントは変更できません。

［ファイル読み込み］　ファイルとして保存されている「お気に入り」の項目を読み込み、［お気に入り一覧］に追加します。

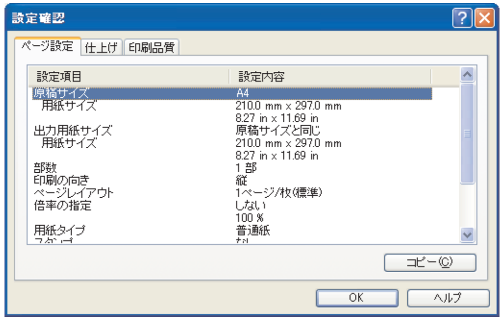
［ファイル保存］　［お気に入り一覧］で選択されている項目をファイルとして保存します。

メモ
はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、このボタンをクリックすることはできません。

［アプリケーションの設定を優先させる］　チェックマークを付けると、［原稿サイズ］、［印刷の向き］および［部数］はアプリケーションの印刷画面での設定が有効になります。

設定確認

［設定確認］をクリックすると、［設定確認］画面が表示されます。この画面には、［ページ設定］、［仕上げ］および［印刷品質］タブの現在の設定が表示されます。



［コピー］	現在の設定内容がクリップボードにコピーされます。

本製品をネットワーク上で使用する

Canon Satera MF3220 をネットワーク上で使用することができます。
本製品をネットワーク上の共有プリンタとして設定することによって、複数のコンピュータで本製品を印刷用に共有して使用することができます。プリントサーバとクライアントは、同じオペレーティングシステムを使用する必要はなく、また Windows 98/Me クライアントから Windows 2000/XP プリントサーバへ印刷したり、またはその逆へ印刷したりするなど異なる環境のコンピュータでも利用できます。
クライアントの起動時にサーバが動作していない場合でも、サーバを起動するだけで印刷を開始することができます。
サーバが Windows 2000/XP 上で動作している場合は、サーバにログインしているユーザがいなくても印刷できます。

■ 本製品を共有プリンタとして設定する

ネットワーク上で Canon Satera MF3220 を共有する場合は、プリントサーバをそれぞれにインストールしてから、次の設定を行います。詳細は、プリントサーバシステムのマニュアルを参照してください。

Windows 2000/XP でのサーバの設定

Windows 2000/XP でネットワークを使って本製品を共有できるようにします。

メモ

画面は Windows XP を使用しています。

● サーバサービスを追加する

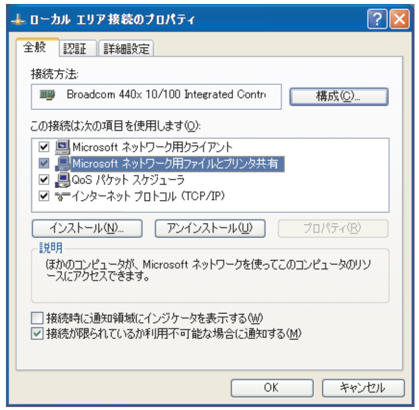
1. [ネットワーク接続]（Windows 2000 の場合は[ネットワークとダイヤルアップ接続]）フォルダを開きます。

タスクバーの［スタート］から、[コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] をクリックします（Windows 2000 のときは、タスクバーの［スタート］から［設定］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。)。

2. [ローカル エリア接続] アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

[ローカル エリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

3. [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

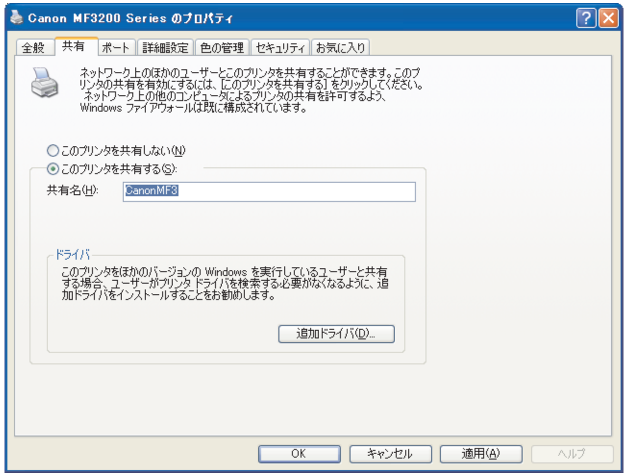


サーバサービスが追加されます。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

● プリンタ共有の設定をする

1. **[Canon MF3200 Series のプロパティ] 画面を表示し、[共有] タブの [このプリンタを共有する] (Windows 2000 では [共有する]) を選択します。**



メモ
[Canon MF3200 Series のプロパティ] 画面を表示する方法については、「印刷の設定を変更する」(→ P.2-3) を参照してください。

2. **必要に応じて、共有名を入力し、[OK] をクリックします。**

プリンタドライバアイコンが共有を表すアイコンに変わります。

メモ
[共有名] には、スペースまたは特殊文字を入力しないでください。

Windows 98/Me でのサーバ設定

Windows 98/Meでネットワークを使って本製品を共有できるようにします。

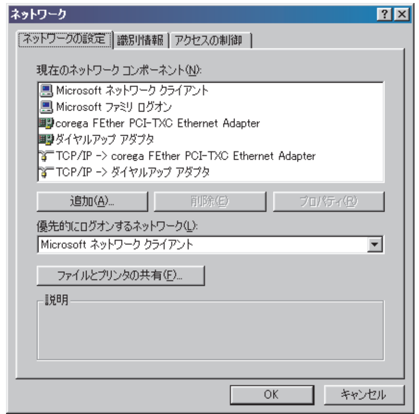
メモ
画面は Windows 98 を使用しています。

● サーバサービスを追加する

1. **タスクバーの [スタート] から、[設定] → [コントロールパネル] を選択し、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。**

[ネットワーク] 画面が表示されます。

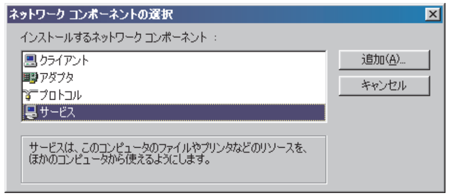
2. **[ネットワークの設定] タブで [追加] をクリックします。**



[ネットワーク コンポーネントの選択] 画面が表示されます。

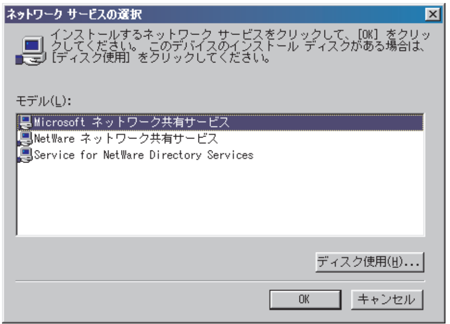
目次
索引

3. ［サービス］を選択し、［追加］をクリックします。

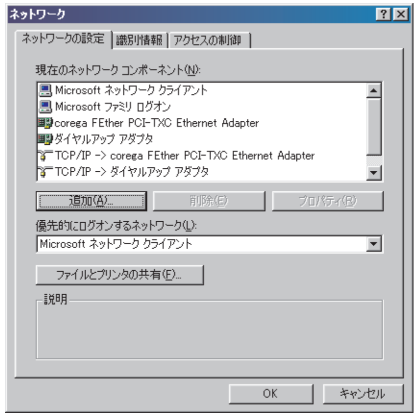


［ネットワーク サービスの選択］画面が表示されます。

4. ［Microsoft ネットワーク共有サービス］を選択し、［OK］をクリックします。

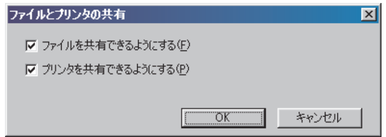


5. ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

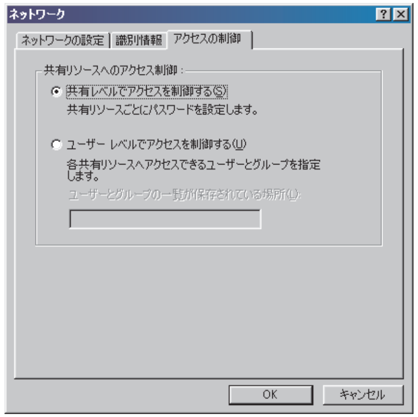


［ファイルとプリンタの共有］画面が表示されます。

6. ［プリンタを共有できるようにする］にチェックマークを付け、［OK］をクリックします。



7. [アクセスの制御] タブを選択し、[共有レベルでアクセスを制御する] または [ユーザーレベルでアクセスを制御する] を選択します。



8. [OK] をクリックします。

サーバサービスが追加されます。
確認メッセージが表示された場合は、[はい] をクリックしてコンピュータを再起動してください。

ネットワーク上で共有プリンタを使用する

Satera MF3220 がすでにネットワーク上にあり、共有プリンタとして設定されている場合は、ネットワーク経由で使用できます。お使いのコンピュータから本製品を利用できるようにするには、ネットワークダウンロードを使用する方法が最も簡単です。ただし、お使いのオペレーティングシステムが Windows 2000/XP の場合は、Windows 98/Me サーバからドライバをダウンロードできません。その場合は、[プリンタの追加ウィザード] を使用してください。

ネットワークダウンロード

ネットワークダウンロードを使ってネットワーク上の共有プリンタに接続します。

1. Windows エクスプローラを開いて、共有プリンタのアイコンが見つかるまでネットワークを検索します。

2. 目的のプリンタアイコンをダブルクリックするか、そのプリンタアイコンを[プリンタとFAX](Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダへドラッグします。

[プリンタの追加ウィザード] 画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

プリンタの追加ウィザード（Windows 2000/XP）

Windows 2000/XP を使ってネットワーク上の共有プリンタに接続します。

注意

Windows 2000/XP をお使いの場合は、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

1. ［プリンタと FAX］(Windows 2000 の場合は、［プリンタ］) フォルダを開きます。

タスクバーの［スタート］から［プリンタと FAX］（Windows 2000 の場合は、［スタート］から［設定］→［プリンタ］）を選択します。

2. ［プリンタの追加ウィザード］画面を表示します。

［プリンタのタスク］にある［プリンタのインストール］をクリックします (Windows 2000 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします)。

3. ［次へ］をクリックします。

4. ［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］(Windows 2000 場合は、［ネットワーク プリンタ］）を選択し、［次へ］をクリックします。

［プリンタの指定］（Windows 2000 の場合は、［プリンタの検索］）画面が表示されます。

5. ［指定したプリンタに接続する（プリンタを参照するにはこのオプションを選択して［次へ］をクリック)］(Windows 2000 の場合は、［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します]）を選択し、接続先のプリンタの名前を入力して、［次へ］をクリックします。

プリンタの名前がわからない場合は、名前を入力しないで［次へ］をクリックし、［プリンタの参照］画面へ進みます。

メモ

- プリンタ名が無効になる場合は、クライアントは共有プリンタへ接続できません。
- 適切なドライバが見つからない場合は、サーバが Windows 98/Me コンピュータである可能性があります。

6. 一覧からプリンタを選択して、[OK］をクリックします。

画面の指示に従ってインストールしてください。

プリンタの追加ウィザード（Windows 98/Me）

Windows 98/Me の［プリンタの追加ウィザード］を使ってネットワーク上の共有プリンタに接続します。

メモ

画面は Windows 98 を使用しています。

1. タスクバーの［スタート］から、[設定］→［プリンタ］を選択し、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されます。

2. ［次へ］をクリックします。

3. ［ネットワーク プリンタ］を選択し、[次へ] をクリックします。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

4. **接続先のネットワークパスまたはプリントキューを入力するか、共有プリンタの場所を選択します。**

- 場所を直接入力する場合

  パス名またはプリントキューを入力します。

- 場所を選択する場合

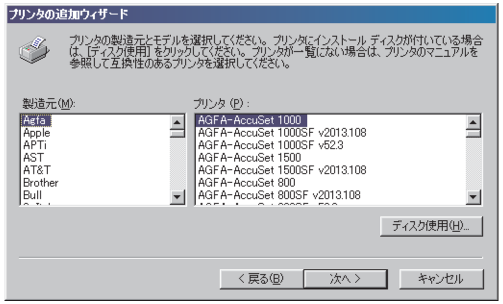
  ［参照］をクリックします。
  プリンタの場所を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

ネットワーク環境によっては、ドライバのインストールが自動的に実行される場合があります。その場合、以降のステップは不要です。

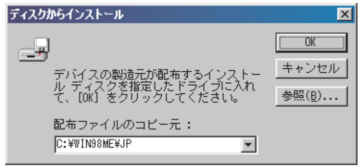
5. **［次へ］をクリックします。**

6. **［ディスク使用］をクリックします。**



［ディスクからインストール］画面が表示されます。

7. **プリンタドライバが存在する場所を選択します。**



- 初期設定の場所を指定する場合

  ステップ 8 に進みます。

- 場所を変更する場合

  ［参照］をクリックします。
  プリンタドライバが存在する場所を選択し、［OK］をクリックします。
  パス名を直接入力することもできます。

8. **［OK］をクリックします。**

9. **使用するプリンタ名を入力し、［次へ］をクリックします。**

標準のプリンタ名を使用する場合は、そのままの状態で、［次へ］をクリックします。
画面の指示に従ってインストールしてください。

メモ

接続に失敗した場合、プリンタのインストールは可能ですが、正しくネットワーク接続されるまでプリンタを使用することはできません。

3 原稿をスキャンする

操作パネルのキーを使って読み込む

本体操作パネルの［スキャン］を押して［スタート］を押すだけで、原稿をコンピュータに読み込むことができます。

メモ

本製品は、USB ケーブルで直接コンピュータに接続して使用するスキャナとしてお使いください。本製品はネットワークに対応していません。

1. **原稿をセットします。**

2. **［スキャン］を押します。**

3. **［スタート］を押します。**

利用するプログラムをたずねてきたら、MF Toolbox Ver4.9 を選択します。

読み込みが始まります。設定に従って原稿が読み込まれます。

［スタート］を押すと、［マイドキュメント］フォルダの［マイピクチャ］フォルダに、その日の日付フォルダが自動的に作成され、読み込まれた原稿が保存されます。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

[スタート] を押したときの読み込みかたを設定する

初期設定では、操作パネルの［スタート］を押すと、MF Toolbox の［保存］をクリックしたときと同じ動作をするように設定されています。［スタート］を押したときの読み込みかたの設定を変更することができます。

■ ［スタート］からのスキャン動作を設定する

1. デスクトップの [Canon MF Toolbox 4.9] をダブルクリックして MF Toolbox を開きます。

タスクバーの［スタート］から、[(すべての) プログラム] → [Canon] → [MF Toolbox 4.9] → [Toolbox 4.9] をクリックしても開くことができます。



2. マークを、選びたいボタンの上にドラッグします。

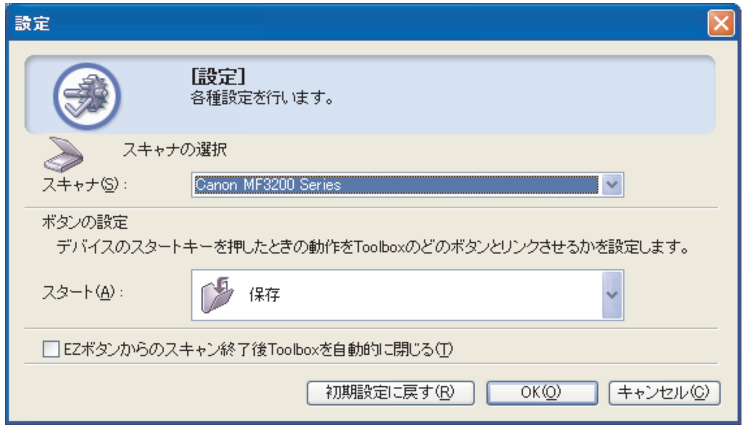


選んだボタンの上に マークが移動します。



■ ［設定］画面で［スタート］を設定する

MF Toolbox で［設定］をクリックします。［設定］画面の［スタート］プルダウンリストから、操作パネルの［スタート］に割り当てる動作を選択し、[OK] をクリックします。



目次
索引

■ ［スキャナとカメラ］フォルダで［スタート］を設定する（Windows 98/2000 の場合は、［スキャナとカメラのプロパティ］ダイアログボックス）

1. **［スキャナとカメラ］フォルダ（Windows 98/2000 の場合は［スキャナとカメラのプロパティ］画面）を開きます。**

タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をクリックします（Windows 98/2000 のときは、［設定］→［コントロールパネル］をクリックして、［スキャナとカメラ］のアイコンをダブルクリックします）。

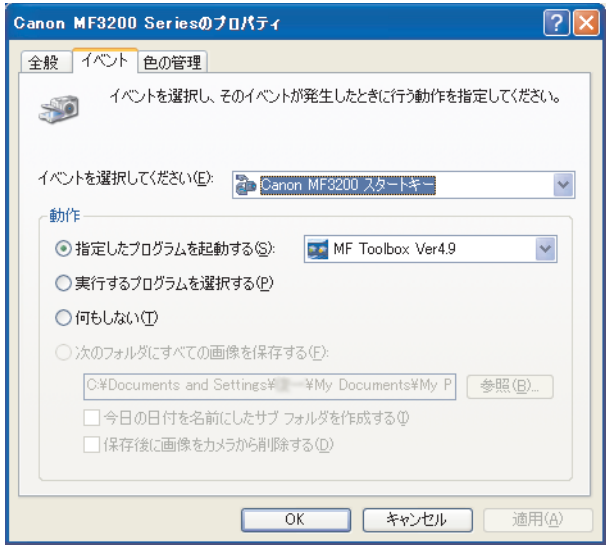
2. **開きたいスキャナドライバ名またはアイコンをクリックします。**

3. **［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします（Windows 98/2000 の場合は、［プロパティ］をクリックします）。**



4. **［スタート］に割り当てる動作を指定します。**

［イベント］タブの［イベントを選択してください］のプルダウンリストから［Canon MF3200 スタートキー］を選択し、［動作］欄で起動するプログラムを選択して、［OK］をクリックします。（Windows 98/Me の場合、［イベント］タブの［スキャナ イベント］で［Canon MF3200 スキャンボタン］を選択し、［次のアプリケーションに送る］で起動するプログラムを選択して、［OK］をクリックします。）



メモ

スキャナの［プロパティ］画面で指定した設定がすぐに反映されないときは、USB ケーブルを外し、もう一度接続しなおすか、コンピュータを再起動させてください。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

MF Toolbox を使って読み込む

MF Toolbox の各ボタンを使って原稿を読み込みます。

1. **原稿台ガラスに原稿をセットします。**

2. **デスクトップの［Canon MF Toolbox 4.9］をダブルクリックして MF Toolbox を開きます。**

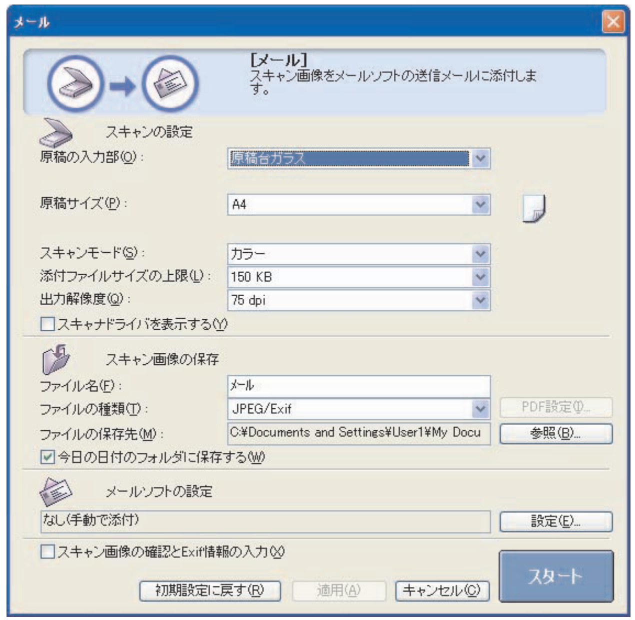
タスクバーの［スタート］から、［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.9］→［Toolbox 4.9］をクリックしても開くことができます。



3. **目的に合った MF Toolbox のボタンをクリックします。**

［メール］：
原稿が読み込まれ、E メールソフトで画像を添付したメールが作られます。
［OCR］：
原稿が読み込まれ、OCR ソフトに読み込まれます。
［保存］：
原稿が読み込まれ、保存されます。
［PDF］：
原稿が読み込まれ、PDF ファイルとして保存されます。
［スキャン -1］、［スキャン -2］：
原稿が読み込まれ、登録されたアプリケーションで表示されます。ボタン名は、直接入力して変えることができます。全角 4 文字（半角 8 文字）まで入力できます。

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。



例）［メール］画面

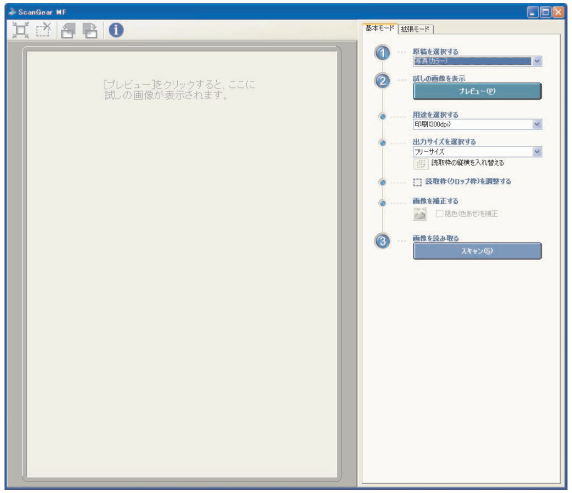
4. **設定を行います。**

詳しくは、「MF Toolbox を設定する」（→ P.3-8）を参照してください。
次回以降も同じ設定にしたいときは、［適用］をクリックしてから［スタート］をクリックします。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

5. ［スタート］をクリックします。

ステップ４の操作で、［スキャナドライバを表示する］にチェックマークを付けたときは、［ScanGear MF］画面が開きます。
［OCR］を使って読み込むときは、この［スキャンドライバを表示する］とチェックボックスは表示されません。



6. 必要に応じて設定を行います。

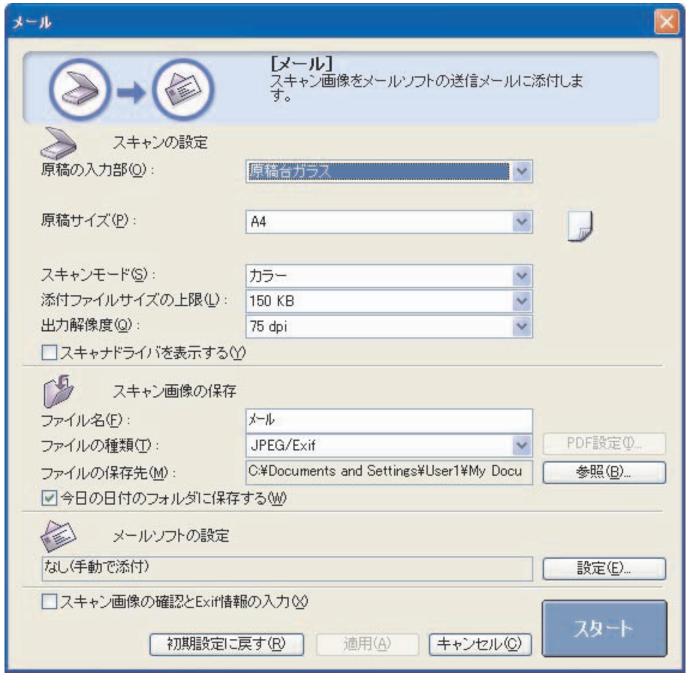
詳しくは、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」（→ P.3-15）を参照してください。

7. ［スキャン］をクリックします。

読み込みが行われます。
読み込んだ原稿は、［マイドキュメント］フォルダの中の［マイピクチャ］フォルダに保存されます。［今日の日付のフォルダに保存する］をチェックして読み込んだ場合は、［マイピクチャ］フォルダに読み込んだ日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
［メール］、［OCR］、［PDF］、［スキャン -1］または［スキャン -2］で保存先のアプリケーションを設定している場合は、読み込みが終わると、読み込んだ原稿がアプリケーションに表示されたり、メールに添付されたりします。詳しくは、「アプリケーションの設定（メールソフトの設定）」（→ P.3-10）を参照してください。
MF3220 セットアップ CD-ROM に収録されているアプリケーションをインストールすると、MF Toolbox のボタンに登録されます。
［OCR］：読取革命 Lite
［PDF］：ファイル管理革命 Lite

目次
索引

MF Toolbox を設定する



例）［メール］画面

■ スキャナを設定する

スキャンモード、読み込み解像度、原稿サイズや送信する画像のファイルサイズを指定することができます。

［原稿の入力部］　［原稿台ガラス］のみ選択することができます。

［原稿サイズ］　読み込む原稿のサイズを設定します。［ユーザ設定］を選択すると、原稿サイズを設定する画面が表示され、独自のサイズの用紙を設定することができます。

［スキャンモード］　原稿の種類と読み込みかたを選択します。MF Toolbox のどのボタンをクリックしたかによって、選択できるスキャンモードが変わります。

［白黒］：
白と黒の画像（白黒２値の画像）になるように原稿を読み込みます。

［白黒（OCR)］：
OCR ソフトに適した白黒画像になるように原稿を読み込みます。

［グレースケール］：
グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿を読み込みます。写真を読み込むときに適しています。

［カラー］：
カラーで原稿を読み込みます。

［カラー（雑誌、カタログ)］：
モアレ低減機能を使って、カラーで原稿を読み込みます。モアレ低減機能は、印刷物を読み込むときに発生する縞のような模様（モアレ）をできるだけ減らす機能です。この機能を使うと、読み込み時間が長くなります。

[添付ファイルサイズの上限]	送信する画像のファイルサイズ（圧縮後のファイルサイズ）の上限の目安を設定します。 一般的なメールでは、[150KB] をお勧めします。 [ファイルの種類] が [PDF]、[PDF（複数ページ）] または [PDF（ページ追加）] のときは、選択できません。
[出力解像度]	読み込み解像度（600dpi まで）を選択します。 [OCR] 画面から読み込むときや、[ファイルの種類] が [PDF]、[PDF（複数ページ）] または [PDF（ページ追加）] のときは、400dpi までしか選択できません。 [メール] を使って読み込むときは、[添付ファイルサイズの上限] の設定によって、選択肢が変わります。
[スキャナドライバを表示する]	チェックマークを付けると、[スキャンの設定] のすべての項目が無効表示になり、つづけて [スタート] をクリックすると、[ScanGear MF] 画面が表示され、読み込みについて細かく設定できます。 [OCR] を使って読み込むときは、このオプションは使用できません。

スキャンした画像を保存する

読み込んだ画像のファイル名やファイルの種類、保存先を指定することができます。ファイルの種類に [PDF] を選択した場合は、さらに細かく設定することができます。

[ファイル名]	読み込んだ画像に付けるファイル名を入力します。同じ名前のファイルが存在するときは、ファイル名の後ろに「0001」から順に 4 桁の番号が付けられます。
[ファイルの種類]	読み込んだ画像の保存形式を指定します。 [BMP]： BMP 形式。 [JPEG/Exif]： JPEG/Exif 形式。[スキャンモード] が [グレースケール]、[カラー] または [カラー（雑誌、カタログ）] のときに選択します。 [TIFF]： TIFF 形式。 [PDF]： PDF 形式。 [PDF（複数ページ）]： 複数ページの原稿を読み込んで、1 つの PDF ファイルにまとめることができます。（→複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする:P.3-13） [PDF（ページ追加）]： MF Toolbox で作成した PDF ファイルの最後のページに、読み込んだ画像を追加することができます。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

メモ

・各ボタンで保存できるファイルの種類は次のとおりです。

	BMP	JPEG/Exif	TIFF	PDF	PDF（複数ページ）	PDF（ページ追加）
［メール］	−	○	−	○	○	○
［OCR］	○	○	○	−	−	−
［保存］	○	○	○	○	○	○
［PDF］	−	−	−	○	○	○
［スキャン -1］［スキャン -2］	○	○	○	−	−	−

・［ファイルの種類］を［PDF］、［PDF（複数ページ）］または［PDF（ページ追加）］にしたときに、画像サイズが大きすぎるという警告メッセージが表示された場合は、［出力サイズ］や［出力解像度］を低くして、読み込んだ画像の［データサイズ］を小さくしてください。詳しくは、「出力設定」（→ P.3-20）を参照してください。

［PDF 設定］　［PDF 設定］画面が表示され、PDF ファイルの拡張設定をすることができます。（→複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする：P.3-13）。このボタンは、［ファイルの種類］が［PDF］、［PDF（複数ページ）］または［PDF（ページ追加）］に設定されているときに表示されます。

［ファイルの保存先］　［ファイルの種類］が［PDF（ページ追加）］以外のときに、読み込んだ画像を保存する場所を表示します。保存場所を変更するには、［参照］をクリックして保存するフォルダを選択し、［OK］をクリックします。
初めて読み込んだときは、［マイドキュメント］フォルダの中の［マイピクチャ］フォルダに読み込んだ日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

［ファイルの追加先］　［ファイルの種類］が［PDF（ページ追加）］のときに、［ファイルの保存先］の代わりに表示されます。読み込んだ画像を追加するPDFファイルを選択することができます。

［今日の日付のフォルダに保存する］　チェックマークを付けると、保存先で設定したフォルダの中にその日の日付のフォルダ（たとえば「2005-12-31」など）が作成され、原稿が保存されます。
［ファイルの種類］が［PDF（ページ追加）］のときは設定できません。

アプリケーションの設定（メールソフトの設定）

［OCR］、［PDF］、［スキャン -1］、［スキャン -2］を使用して読み込むときに、読み込んだ画像を開くアプリケーションを指定することができます。［設定］をクリックし、使いたいアプリケーションを選択して、［開く］をクリックします。アプリケーションのアイコンを、ダイアログボックスにドラッグ＆ドロップしても設定することができます。
アプリケーションを登録したくないときは、［設定の解除］をクリックします。
［メール］を使用して読み込むときに、読み込んだ画像を添付する E メールソフトを指定することができます。MF Toolbox は、Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger に対応しています。［設定］をクリックし、使いたい E メールソフトを選択して、［OK］をクリックします。

目次
索引

スキャン画像の確認と Exif 情報の入力（スキャン画像を確認する）

読み込んだ画像をサムネール形式のプレビュー画面で見て、ファイル形式や保存場所を指定できます。（[OCR] で読み込んだとき以外）。

メモ

[OCR] で読み込んだときには、この機能は使えません。

[スキャン画像の確認と Exif 情報の入力]（[PDF] の場合は [スキャン画像を確認する]）にチェックマークを付け、[スタート] をクリックします。読み込みが終わると、読み込んだ原稿のサムネールが表示されます。サムネールの画像を確認し、ファイル形式と保存先を指定して、[保存] または [転送] をクリックします。

[ファイルの種類]	読み込んだ画像の保存形式を指定します。使用できるファイルの種類は、「スキャンした画像を保存する」（→ P.3-9）の [ファイルの種類] を参照してください。
[Exif 設定]	[Exif 設定] 画面が表示され、[ファイルの種類] で [JPEG/Exif] を選択したときの Exif 情報を設定することができます。設定内容を一覧で確認できます（→ Exif 設定：P.3-11）。
[PDF 設定]	[PDF 設定] 画面が表示され、PDF ファイルの拡張設定をすることができます。（→複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする：P.3-13）。このボタンは、[ファイルの種類] が [PDF]、[PDF（複数ページ）] または [PDF（ページ追加）] に設定されているときに表示されます。
[ファイルの保存先]	読み込んだ画像の保存先を指定します。
[ファイルの追加先]	[ファイルの種類] が [PDF（ページ追加）] のときに、[ファイルの保存先] の代わりに表示されます。読み込んだ画像を追加するPDFファイルを選択することができます。
[今日の日付のフォルダに保存する]	チェックマークを付けると、保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のフォルダを作って、原稿を保存します。 [ファイルの種類] が [PDF（ページ追加）] のときは設定できません。
[転送]	[メールソフトの設定] または [アプリケーションの設定] で指定したアプリケーションに読み込んだ画像を送ります。
[保存]	読み込んだ画像を指定した場所へ保存します。このボタンは [転送] の代わりに表示されます。
[キャンセル]	操作を中止し、元の画面に戻ります。読み込んだ画像はすべて削除されます。 [保存] で読み込んだときは、[終了] が表示されます。

Exif 設定

Exif 設定では、JPEG ファイルにコメントや読み込んだ日時などの情報を付けることができます。読み込んだ画像をリストから選択して表示させ、情報を加えます。

[基本情報]	画像を読み込んだときに自動的に得られた情報を表示します。
[拡張情報]	入力した追加情報を表示します。
[前回設定した入力内容を引き継ぐ]	前回画像を読み込んだときと同じ設定にしたいときに、チェックマークを付けます。

アプリケーションから画像を読み込む

TWAIN または WIA（Windows XP）に対応したアプリケーションを操作しながら画像を読み込んで、その画像をアプリケーションで利用することができます。
この操作は、アプリケーションによって異なります。ここでは、その一例を示します。

1. 原稿をセットします。

2. アプリケーションを起動します。

3. 読み込むためのコマンドを選択します。

4. スキャナドライバを選択します。

Windows XP では、スキャナドライバとして、ScanGear MF または WIA ドライバを使うことができます。

メモ

Windows XP 付属のペイントツールでは、TWAIN ドライバを選択できません。

5. スキャナの設定を指定し、［スキャン］をクリックします。

詳しくは、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」（→ P.3-15）か、「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」（→ P.3-31）を参照してください。

複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする

複数ページの原稿を読み込んで、1 つの PDF ファイルにまとめることができます。

1. **原稿をセットします。**

2. **デスクトップの［Canon MF Toolbox 4.9］をダブルクリックして MF Toolbox を開きます。**

タスクバーの［スタート］から、［(すべての）プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.9］→［Toolbox 4.9］をクリックしても開くことができます。

3. **［PDF］をクリックします。**

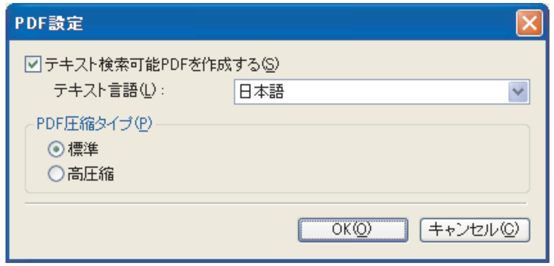
必要があれば、MF Toolbox の設定をします。
［メール］または［保存］をクリックしても開くことができます。

4. **［ファイルの種類］から［PDF（複数ページ）］を選択します。**

5. **必要に応じて他の設定をし、［PDF 設定］をクリックします。**

［スキャナドライバを表示する］にチェックマークを付けたときは、ステップ 7 で［ScanGear MF］画面が開きます。
［PDF 設定］画面が表示されます。

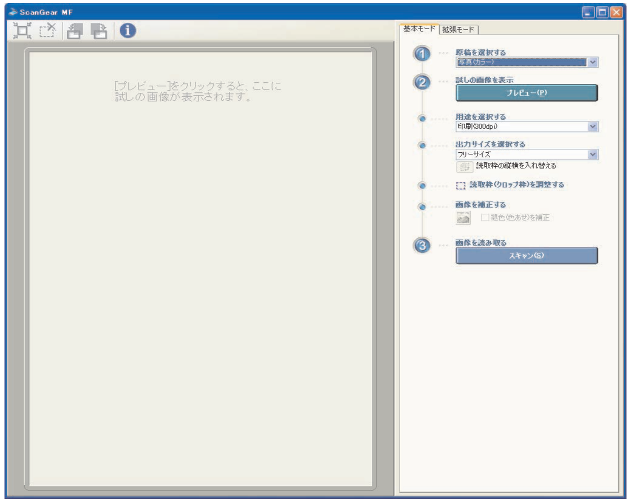
6. **必要に応じて次の設定をし、［OK］をクリックします。**



［テキスト検索可能 PDF を作成する］:
原稿中の文字をテキストデータに変換し、簡単なキーワード検索などができるようになります。
［テキスト言語］:
読み込むテキストの言語を選択します。［日本語］か［英語］を選択し、スキャナの設定にある［出力解像度］は 300dpi 以上にしてください。
(→スキャナを設定する：P.3-8)
［PDF 圧縮タイプ］:
［高圧縮］を選択すると、画像（写真、イラストなど）がより圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。

7. ［スタート］をクリックします。

ステップ5で［スキャナドライバを表示する］にチェックマークを付けたときは、［ScanGear MF］画面が開きます。チェックマークを付けていないときは、ステップ9に進みます。

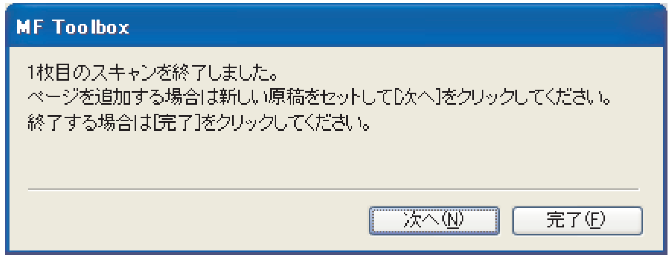


8. 必要に応じて設定を行い、［スキャン］をクリックします。

設定の詳細については、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」（→ P.3-15）を参照してください。

9. スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックしてください。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

原稿が1枚読み込まれるごとに、次の画面が開きます。



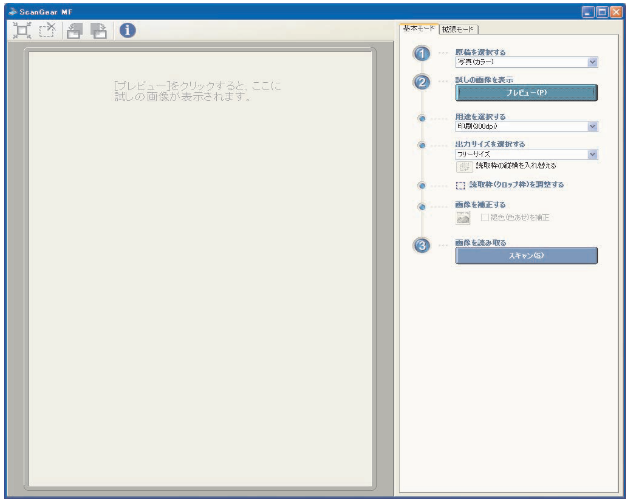
ScanGear MF で細かく設定して読み込む

ScanGear MF を使うと、プレビュー（仮読み込み）で原稿がどのように読み込まれるかを確認したり、原稿の大きさや色などを細かく調整できます。原稿を読み込むときに、ScanGear MF で設定してから読み込みたいときは、MF Toolbox で［スキャナドライバを表示する］にチェックマークを付けてスキャンするか、TWAIN を使えるアプリケーションから読み込みます。

■ 基本モードと拡張モードを切り替える

ScanGear MF には、［基本モード］と［拡張モード］があります。［拡張モード］では、解像度や色調などの細かい設定ができます。
基本モードと拡張モードを切り替えるには、それぞれのタブをクリックしてください。

■ 基本モードの操作



1. **原稿をセットします。**

2. **原稿を選択します。**

［写真（カラー）］：カラー写真を読み込むとき
［雑誌（カラー）］：カラーの雑誌を読み込むとき（モアレ低減）
［新聞（白黒）］：文字や線画だけの原稿を読み込むとき（白黒）
［文書（グレー）］：カラーの写真や原稿を白黒で読み込むとき、高解像度の白黒画像が必要なとき

メモ

［新聞（白黒）］以外を選択しているときに、自動色調整機能をオフにする方法については、「［色の設定］タブ」（→ P.3-28）を参照してください。

3. **［プレビュー］をクリックします。**

プレビューの読み込みが行われ、プレビュー画面に画像が表示されます。

4. **読み込んだ画像の用途を選択します。**

ステップ２で選んだ原稿の種類に合わせて、［印刷（300dpi）］、［画面表示（150dpi）］、または［OCR（300dpi）］から選択します。この設定の詳細については、「解像度を決める」（→ P.3-30）を参照してください。

5. **読み込んだ画像の出力サイズを選択します。**

ステップ４で選んだ用途に応じて、選択肢が変わります。
をクリックすると、出力サイズの方向（縦か横）が変わります。

6. **画像の読取枠を調整し、必要に応じて［褪色（色あせ）を補正］をチェックします。**

画像の読取枠を調整するには、（オートクロップ）を使うか、枠の角または辺をドラッグします。

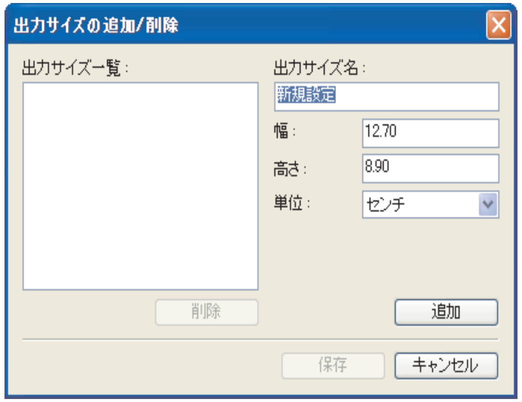
メモ

カラーで読み込んだプレビュー画像が表示されているときのみ、［褪色（色あせ）を補正］を選択することができます。
カラーで読み込んだ画像であっても、［新聞（白黒）］または［文書（グレー）］を選択すると、［褪色（色あせ）を補正］は選択できません。

7. **［スキャン］をクリックします。**

出力サイズの追加 / 削除

［基本モード］タブの［出力サイズを選択する］で［追加 / 削除］を選択すると、［出力サイズの追加 / 削除］画面が開きます。この画面では、個別に指定した出力サイズの設定を追加や削除することができます。



［出力サイズ一覧］	登録されている出力サイズ名が表示されます。
［出力サイズ名］	登録したい出力サイズ名を指定します。
［幅］	出力サイズの幅を指定します。
［高さ］	出力サイズの高さを指定します。
［単位］	出力サイズの単位を指定します。
［追加］	出力サイズを［出力サイズ一覧］に追加します。
［削除］	選択している出力サイズを［出力サイズ一覧］から削除します。
［保存］	追加または削除した出力サイズの情報を保存します。

メモ

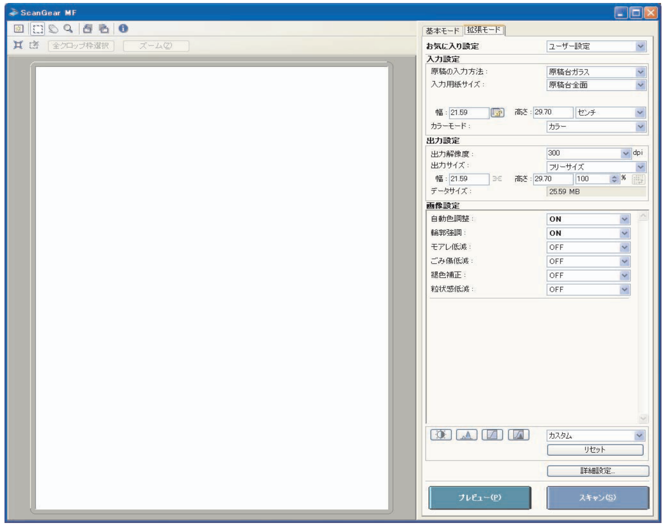
［出力サイズ］で現在設定されているサイズは削除できません。

基本モードのツールバー



（オートクロップ）	画像の読み込み範囲を自動的に選択します。このボタンをクリックするたびに、選択範囲が少しずつ狭くなります。
（読み込み範囲削除）	画像の読み込み範囲を削除します。
（左回転）	画像を左に 90 度回転させます。
（右回転）	画像を右に 90 度回転させます。
（情報）	読み込んだ画像の情報を表示します。

拡張モードの操作



1. 原稿をセットします。

2. [お気に入り設定]、[入力設定]、[出力設定] と [画像設定] を設定し、色の設定をします。

詳しくは、「拡張モードを設定する」(→ P.3-19) を参照してください。

3. [プレビュー] をクリックします。

メモ

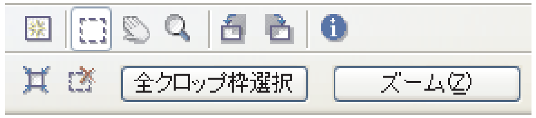
- プレビュー領域で範囲を指定し、[ズーム] をクリックすると、指定した範囲の画像をもう一度読み込んで拡大表示します。
- 表示されたプレビューを消すには、をクリックします。消去を確認する画面が開いたら、[OK] をクリックします。

4. 原稿の一部を読み込みたいときは、範囲を指定します。

詳しくは「拡張モードで読み込む範囲を指定する」(→ P.3-18) を参照してください。

5. [スキャン] をクリックします。

拡張モードのツールバー



(クリア)	プレビュー領域からプレビュー画像を削除します。ツールバーの設定とカラーの設定もリセットされます。
(クロップ)	読み込む範囲を選択します。
(画像移動)	画像を移動します。拡大した画像が画面に入りきらないときに、画像をドラッグします。
(ズーム)	プレビューを拡大、縮小します。ツールバーのこのボタンをクリックして、画像の上で左クリックすると画像が拡大し、右クリックすると画像が縮小します。
(左回転)	画像を左に 90 度回転させます。
(右回転)	画像を右に 90 度回転させます。
(情報)	読み込んだ画像の情報を表示します。
(オートクロップ)	画像の読み込み範囲を自動的に選択します。
(読み込み範囲削除)	画像の読み込み範囲を削除します。
[全クロップ枠選択]	このボタンをクリックすると、[拡張モード] タブの設定が、すべての読み込み範囲に反映されます。

［ズーム］	このボタンをクリックすると、指定した範囲の画像をもう一度読み込んで拡大表示します。一回クリックすると、［ズーム］が［戻す］に変わります。［戻す］をクリックすると、画像が元のサイズに戻ります。

拡張モードで読み込む範囲を指定する

画像の一部を選択して、読み込む範囲を指定できます。［スキャン］をクリックすると、選択した範囲だけが読み込まれます。

読み込む範囲を自動的に選択するには

プレビューを行ってから、ツールバーの をクリックします。クリックするたびに、範囲が少しずつ狭くなります。

読み込む範囲を指定するには

をクリックします。プレビュー画像をクリックして、指定する範囲をドラッグします。さらに調整したいときは、選択した範囲の角や辺をドラッグします。または、［入力設定］の［幅］と［高さ］に設定値を入力します。
読み込み範囲を移動するには、読み込み範囲の内側をクリックしてドラッグします。

メモ

元画像の幅と高さの比率を保持したいときは、［入力設定］で をクリックします。

複数の読み込み範囲を指定するには

複数の読み込み範囲を指定することができます。新たに読み込み範囲を指定したいときは、既存の読み込み範囲の外側にマウスポインタを置いて、ドラッグします。
読み込み範囲は 10 個まで指定することができ、［スキャン］をクリックすると、すべての読み込み範囲が一度に読み込まれます。（すべての範囲が読み込まれるまで、スキャン動作が続きます。）

読み込み範囲を解除するには

読み込み範囲を解除するときは、削除したい読取枠を選択し、次のいずれかの操作をします。

- キーボードの［Delete］を押す。
- ツールバーの （読み込み範囲削除）をクリックする。
- 読み込み範囲を右クリックし、［削除］を選択する。
- キーボードの［Ctrl］を押しながら、読み込み範囲の外側で右クリックし、［削除］を選択する。

拡張モードを設定する



お気に入り設定

読み込み範囲の各設定（[入力設定]、[出力設定] および [画像設定]）をまとめて保存することができます。読み込み範囲がない場合は、プレビュー全体の設定が保存されます。保存した設定を呼び出して、選択した読み込み範囲や、プレビュー全体に適用することができます。

メモ

以下の項目は、お気に入り設定では保存できません。
- [入力設定] および [出力設定] の [幅] と [高さ] の値
- [入力設定] の ［アイコン］（幅と高さの比率を保持）ボタンの有効状態
- [出力設定] の [%]（拡大／縮小）の値

[ユーザー設定]	このオプションを選択し、各設定値を指定します。
[初期設定]	現在の設定を初期設定値に戻します。プレビュー画像はクリアされます。
[追加 / 削除]	[お気に入り設定の追加／削除] 画面を表示し、現在選択しているプレビュー画像の設定に名前を付けて登録することができます。

入力設定

[原稿の入力方法]	[原稿台ガラス] のみ選択することができます。
[入力用紙サイズ]	読み込む原稿のサイズと向きを選択します。

メモ

プレビュー後に [入力用紙サイズ] を変えると、プレビュー画像が消去されます。

読み込みサイズ	読み込む範囲の [幅] と [高さ] を、数値を入力して指定できます。画像の幅と高さの比率を保持したいときは、［アイコン］をクリックします。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

メモ

- アプリケーションによっては、受け取れる画像データの容量に制限があります。範囲が 21,000 × 30,000 ピクセル以上のときは受け取れません。
- 最小選択範囲は、[出力解像度] が [600] dpi の場合で 96 × 96 ピクセルです。

[カラーモード]　どんな原稿をどのように読み込むかを選択します。

[白黒]：
写真などの原稿を白黒のプリンタで出力するときに選択します。画像を白と黒の２色で表現します。画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、２色で表現します。スレッショルド値の設定については、「白黒設定」（→ P.3-26）を参照してください。

[グレースケール]：
白黒写真などの読み込みや白から黒までの明暗だけ（モノクロ）で表現したいときに選択します。画像を白黒 256 段階（グレースケール）で表現します。

[カラー]：
カラー写真などを読み込むときに選択します。画像を R（赤）、G（緑）、B（青）各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

[カラー（文書 , 表)]：
文字や図表を含むカラー原稿などを読み込むときに選択します。画像を R（赤）、G（緑）、B（青）各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

[テキスト（OCR)]：
文字などをはっきりと読み込みます。OCR ソフトなどで文字を読み込むときに選択します。画像を白と黒の２色で表現します。

出力設定

[出力解像度]　読み込むときの解像度を選択します。25 ～ 9,600dpi の範囲で入力します。詳しくは、「解像度を決める」（→ P.3-30）を参照してください。

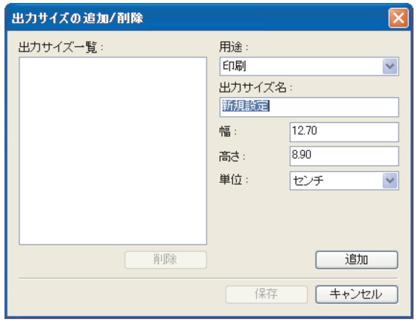
[出力サイズ]　読み込み画像の出力サイズを設定します。[追加 / 削除] を選択すると、[出力サイズの追加 / 削除] 画面が開き、個別に指定した出力サイズの設定を追加や削除することができます。（→出力サイズの追加 / 削除：P.3-21）
[フリーサイズ] を選択した場合は、[幅]、[高さ] または [%]（拡大／縮小）に数値を入力します。読み込むときの解像度が、[%] の値に応じて変わります。
[幅] と [高さ] の比率は、[入力用紙サイズ] の [幅] と [高さ] の比率と連動しています。
[%] は、25 ～ 38,400 の範囲で設定できますが、上限値は、[出力解像度] の値に応じて変わります。
出力サイズの方向（縦か横）を変更するには をクリックします。このボタンは、[出力サイズ] で [フリーサイズ] を選択した場合は使用できません。

[データサイズ]　指定した設定で読み込んだ画像のデータサイズを表示します。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

● **出力サイズの追加 / 削除**

［拡張モード］タブの［出力サイズ］で［追加 / 削除］を選択すると、［出力サイズの追加 / 削除］画面が開きます。この画面では、個別に指定した出力サイズの設定を追加や削除することができます。



［出力サイズ一覧］	登録されている出力サイズ名が表示されます。
［用途］	出力サイズの用途（［印刷］または［画面表示］）を指定します。
［出力サイズ名］	登録したい出力サイズ名を指定します。
［幅］	出力サイズの幅を指定します。
［高さ］	出力サイズの高さを指定します。
［単位］	出力サイズの単位を指定します。
［追加］	出力サイズを［出力サイズ一覧］に追加します。
［削除］	選択している出力サイズを［出力サイズ一覧］から削除します。
［保存］	追加または削除した出力サイズの情報を保存します。

メモ

［出力サイズ］で現在選択されている出力サイズは削除できません。

画像設定

［自動色調整］　［ON］にすると、画像のトーンを自動的に調整します。この設定は、プレビュー画像が表示されているときのみ適用されます。

メモ

- ［カラーモード］が［グレースケール］、［カラー］または［カラー（文書 , 表）］のときに設定することができます。
- ［詳細設定］画面の［色の設定］が［色補正なし］に設定されているときは、設定できません。（→［色の設定］タブ：P.3-28）

［輪郭強調］　［ON］にすると、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。ピントのあまい写真などを読み込むときに効果的です。

メモ

［カラーモード］が［グレースケール］、［カラー］または［カラー（文書 , 表）］のときに設定することができます。

［モアレ低減］　印刷された写真や絵を読み込むときは、［ON］にします。濃淡のムラや縞模様（モアレ）を少なくします。

メモ

- ［カラーモード］が［グレースケール］、［カラー］または［カラー（文書 , 表）］のときに設定することができます。
- ［モアレ低減］が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、［輪郭強調］を［OFF］にしてください。
- ［ScanGear MF］画面を表示しないでアプリケーションから読み込むときは、設定できません。
- この設定を変更すると、次の読み込み時にその設定が反映されます。

目次
索引

[ごみ傷低減]　スキャン後の画像データ上に出るゴミや傷の再現を少なくします。

[OFF]：
ごみ傷低減を行いません。

[弱]：
小さなゴミや傷を減らします。

[標準]：
通常は、この設定をお勧めします。

[強]：
大きいゴミや傷も減らすことができますが、画像の微妙な部分を消去してしまうことがあります。

メモ

[カラーモード] が [グレースケール]、[カラー] または [カラー（文書 , 表)] のときに設定することができます。

[褪色補正]　褪色補正機能は、あせた色を補正します。また、くすんだ原稿の彩度を高め、あざやかな画像に仕上げます。この設定は、プレビュー画像が表示されているときのみ適用されます。

[OFF]：
褪色補正は行いません。

[弱]：
あせた色を少しだけ補正します。

[標準]：
通常は、この設定をお勧めします。

[強]：
あせた色を大きく補正しますが、画像のトーンが変わってしまうことがあります。

メモ

[カラーモード] が [カラー] または [カラー（文書 , 表)] に設定されており、[詳細設定] 画面（→ [色の設定] タブ：P.3-28）の [色の設定] が [推奨] に設定されているときに設定することができます。

[粒状感低減]　高感度フィルムで撮影した写真のざらつきを補正し、なめらかなトーンで高品質に仕上げることができます。

[OFF]：
粒状感低減は行いません。

[弱]：
ざらつきがあまり目立たないときはこの設定にします。

[標準]：
通常は、この設定をお勧めします。

[強]：
粒状感を大きく調整しますが、画像のシャープさや品質を下げてしまうことがあります。

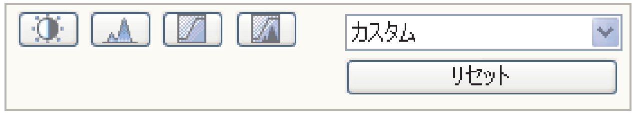
メモ

- [カラーモード] が [グレースケール] 、[カラー] または [カラー（文書 , 表)] のときに設定することができます。
- この設定はプレビュー画面には反映しません。

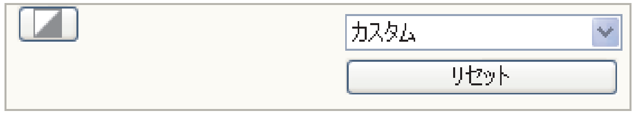
色の設定

色の設定ボタンでは、画像全体の明るさや画像のコントラストの調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正などの設定ができます。
色の設定ボタンは、[カラーモード] が [グレースケール]、[カラー] または [カラー（文書 , 表）] のときに表示されます。[白黒] モードのときは、白黒設定ボタンが表示されます。

[カラーモード] が [グレースケール]、[カラー] または [カラー（文書 , 表）] のとき：



[カラーモード] が [白黒] のとき：

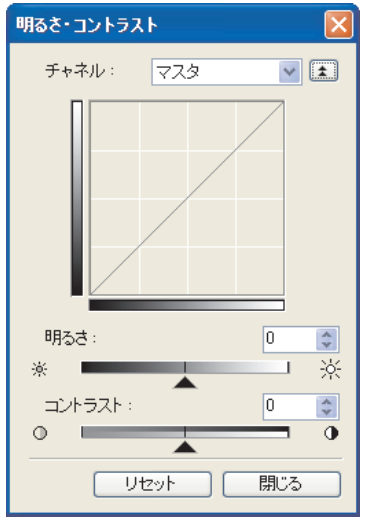


プルダウンリストから、[追加 / 削除] を選択すると、カラーおよび白黒の設定を、名前を付けて保存することができます。詳しくは、「トーンカーブ設定の追加 / 削除」（→ P.3-26）を参照してください。
ボタンをクリックすると、各設定画面を表示します。[リセット] をクリックすると、すべてのカラー調整設定が、初期値に戻ります。

● 明るさ・コントラスト

画像の明るさやコントラストを調整します。
をクリックすると、明るさとコントラストを図表上で調整できます。

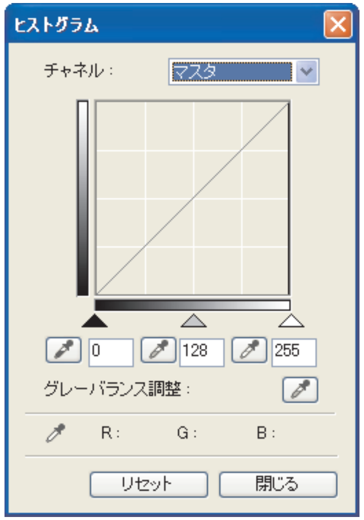




[チャネル]	カラーモードを [カラー] または [カラー（文書 , 表）] に設定した場合は、[赤]、[緑] または [青] を選択してそれぞれを個別に調整するか、[マスタ] を選択して 3 つの色の要素をまとめて調整します。[グレー] に設定した場合は、グレーの要素を調整します。
[明るさ]	スライダ▲を動かして画像の明るさを調整します。数値（-127 ～ 127）を直接入力して指定することもできます。
[コントラスト]	スライダ▲を動かして画像のコントラストを調整します。数値（-127 ～ 127）を直接入力して指定することもできます。
[リセット]	現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

● **ヒストグラム**

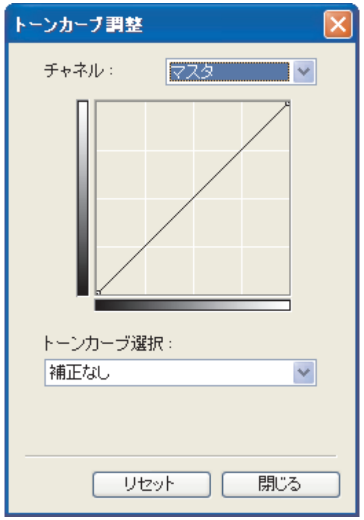
どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。
画像の中の最も明るいレベルと最も暗いレベルを指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。



[チャネル]	カラーモードを［カラー］または［カラー（文書,表)］に設定した場合は、［赤］、［緑］または［青］を選択してそれぞれを個別に調整するか、［マスタ］を選択して3つの色の要素をまとめて調整します。［グレー］に設定した場合は、グレーの要素を調整します。
(暗点)	このボタンをクリックし、プレビュー画像の読み込み範囲の内側でいちばん暗くしたい部分をクリックします。数値（0 ～ 245）を直接入力するか、スライダ▲でも指定できます。
(中間点)	このボタンをクリックし、プレビュー画像の読み込み範囲の内側で白と黒の中間の色にしたい部分をクリックします。数値（5 ～ 250）を直接入力するか、スライダ△でも指定できます。
(明点)	このボタンをクリックし、プレビュー画像の読み込み範囲の内側でいちばん明るくしたい部分をクリックします。数値（10 ～ 255）を直接入力するか、スライダ△でも指定できます。
(グレーバランス調整)	画像の色を調整するときは、このボタンをクリックし、プレビュー画像の読み込み範囲の内側で、グレーバランス調整を行いたい場所をクリックします。グレーバランスの調整を行うと、読み込んだ画像の中のグレー要素が中間色となり、その他の要素も本来の色を再現します。
[リセット]	現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

● **トーンカーブ設定**

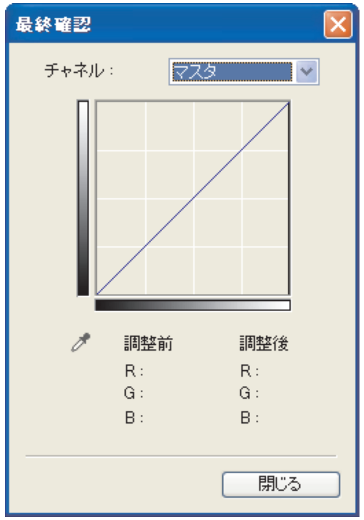
明暗の入力と出力のバランスを示したグラフがトーンカーブです。トーンカーブの種類を選択して、画像の特定の領域の明るさを調整します。



［チャネル］	カラーモードを［カラー］または［カラー（文書,表）］に設定した場合は、［赤］、［緑］または［青］を選択してそれぞれを個別に調整するか、［マスタ］を選択して３つの色の要素をまとめて調整します。［グレー］に設定した場合は、グレーの要素を調整します。
［トーンカーブ選択］	トーンカーブを選択します。（［補正なし］、［露出オーバーにする］、［露出アンダーにする］、［ハイコントラストにする］、［ネガポジを反転する］）
［リセット］	現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

● **最終確認**

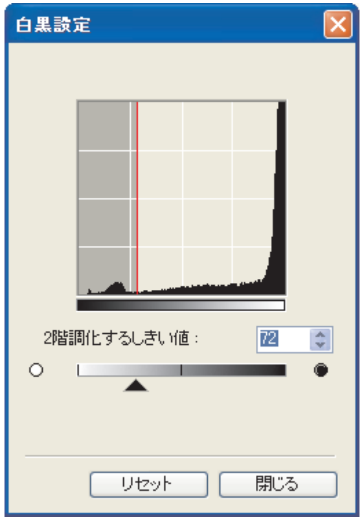
この画面では、色の設定の確認ができます。



［チャネル］	カラーモードを［カラー］または［カラー（文書,表）］に設定した場合は、［赤］、［緑］または［青］を選択してそれぞれを個別に調整するか、［マスタ］を選択して３つの色の要素をまとめて調整します。［グレー］に設定した場合は、グレーの要素を調整します。

● **白黒設定**

しきい値を調整します。しきい値を調整すると、文字原稿の文字をくっきりとさせたり、新聞などの裏写りを軽減させることができます。



［2階調化するしきい値］	スライダ▲を動かしてしきい値を調整します。数値（0 ～ 255）を直接入力して指定することもできます。
［リセット］	現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

メモ

カラーやグレースケールの画像は、明るさを 0 ～ 255 の数値で表現しますが、白黒の場合は中間色の部分も、白と黒のどちらかに分けます。このときの、白と黒に分ける境をしきい値といいます。

● **トーンカーブ設定の追加 / 削除**

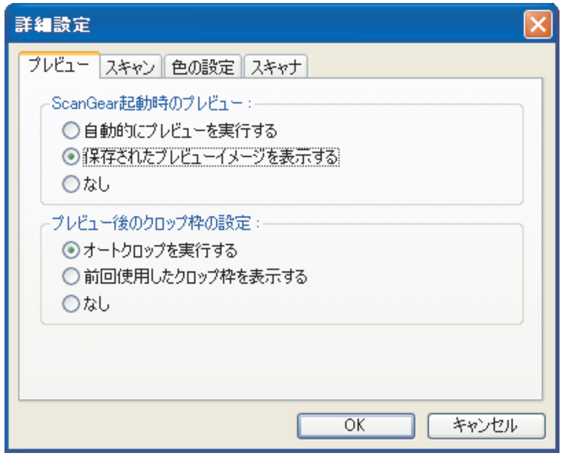
読み込み範囲に設定した色の設定を保存することができます。読み込み範囲がない場合は、プレビュー範囲全体の設定が保存されます。また、保存した設定を呼び出して、選択した読み込み範囲にその設定を適用することができます。

［カスタム］	各設定の値を指定することができます。設定を適用した後でも、設定を変更することができます。
［追加 / 削除］	［トーンカーブ設定の追加／削除］（［カラーモード］が［白黒］のときは［しきい値設定の追加／削除］）画面を表示し、色の設定に名前を付けて登録することができます。

詳細設定

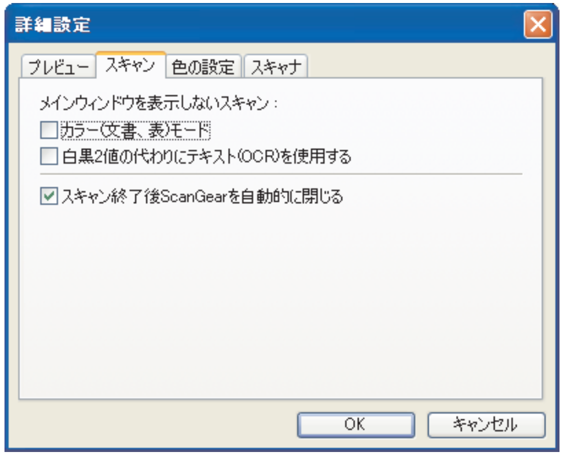
［拡張モード］タブの［詳細設定］をクリックすると、［詳細設定］画面が開きます。スキャンおよびプレビューの設定を調整することができます。

● ［プレビュー］タブ



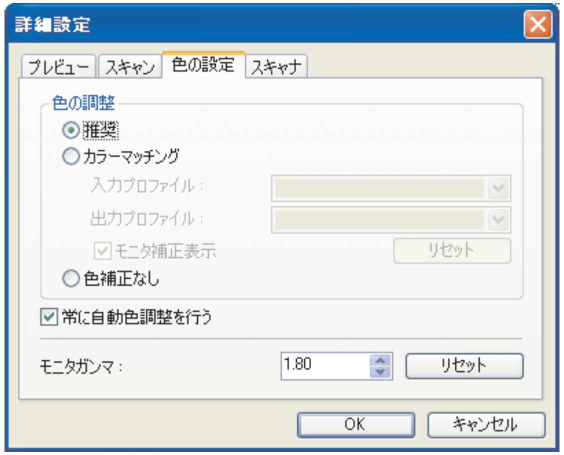
［ScanGear 起動時のプレビュー］	ScanGear MF を起動したときのプレビューの動作を選択します。 ［自動的にプレビューを実行する］： ScanGear MF を起動すると、自動的にプレビューを開始します。 ［保存されたプレビューイメージを表示する］： 前回、プレビューしたときの画像を表示します。 ［なし］： 起動時はプレビュー画像を表示しません。
［プレビュー後のクロップ枠の設定］	プレビュー画面を表示するときに、どのように枠を表示させるかを設定します。 ［オートクロップを実行する］： 原稿サイズに合わせて読み込む範囲を自動的に選択します。 ［前回使用したクロップ枠を表示する］： 前回設定した枠が表示されます。 ［なし］： プレビュー画像のときに、枠が表示されません。

● [スキャン] タブ



[メインウィンドウを表示しないスキャン]	OCR ソフトなど、読み込み時に ScanGear MF の画面を表示しないアプリケーションでは、アプリケーション内に初期設定されている数値で読み込まれます。アプリケーションの設定値を無視して、特定のカラーモードで読み込みたいときは、ここで設定します。 [カラー（文書 , 表）モード]： アプリケーションの設定に関係なく、[カラー（文書 , 表）] モードで読み込みます。 [白黒２値の代わりにテキスト（OCR）を使用する]： アプリケーションの設定に関係なく、[テキスト（OCR）] で読み込みます。
[スキャン終了後 ScanGear を自動的に閉じる]	チェックマークを付けると、画像を読み込んだあと、ScanGear MF の画面が自動的に閉じます。設定に関係なく ScanGear MF の画面を自動的に閉じるアプリケーションもあります。

● [色の設定] タブ



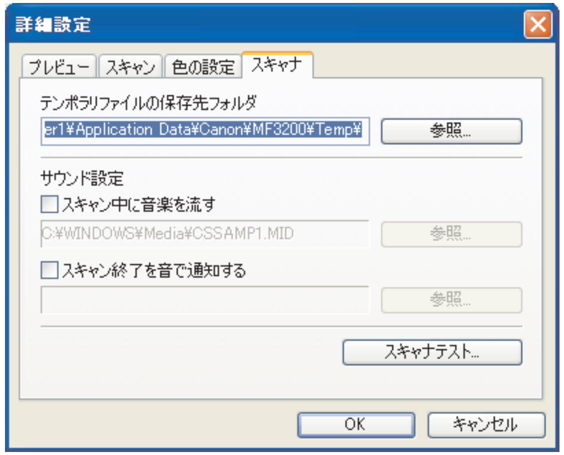
[色の調整]	色調整の方法を選択します。 [推奨]： 原稿の色合いを、画面上で鮮やかに再現します。 [カラーマッチング]： スキャナ、モニターおよびカラープリンタの色に自動的に合うよう選択されます。[カラーマッチング] を選択すると、[拡張モード] タブの色の設定ボタンが無効になります。[カラーモード] が [カラー] または [カラー（文書 , 表）] のときに設定することができます。 [色補正なし]： カラーマッチングは行いません。[カラーモード] が [グレースケール] 、[カラー] または [カラー（文書 , 表）] のときに使用できます。
[常に自動色調整を行う]	画像の色を常に自動的に調整します。[カラーモード] が [グレースケール]、[カラー] または [カラー（文書 , 表）] のときに設定することができます。

［モニタガンマ］	ガンマを調整します。読み込んだ画像を表示するモニターのガンマ値（0.10 ～ 10.00）を指定することができます。

メモ

［色の調整］で［カラーマッチング］が選択されている場合、［モニタガンマ］の値は 1.80 に固定されます。

● ［スキャナ］タブ



［テンポラリファイルの保存先フォルダ］	画像を一時的に保存するフォルダを指定します。［参照］をクリックして、仮の保存先フォルダを指定します。
［サウンド設定］	スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。 ［スキャン中に音楽を流す］： スキャン中に音楽を流すことができます。［参照］をクリックして、サウンドファイルを指定します。 ［スキャン終了を音で通知する］： スキャン終了時に音楽を流すことができます。［参照］をクリックして、サウンドファイルを指定します。 次のファイルを指定できます。 ・ MIDI ファイル（*.mid、*.rmi、*.midi） ・ オーディオファイル（*.wav、*.aiff） ・ MP3 ファイル（*.mp3）

［スキャナテスト］　本製品に電源が接続され、USB ケーブルで本製品とコンピュータが接続されているか確認します。

■ 解像度を決める

読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点の集まりです。この点の密度を解像度といい、１インチあたりの点（ドット）の数を dpi（ドット・パー・インチ）で表します。
MF Toolbox の各動作ボタンをクリックしたときに開く設定画面の［出力解像度］か、ScanGear MF の［拡張モード］タブの出力設定の［出力解像度］で指定します。

● ディスプレイに表示するとき

モニター表示用画像は、一般に 75dpi の解像度でスキャンします。

● プリンタで印刷するとき

プリンタで印刷する画像は、そのプリンタの解像度に合わせて読み込みます。

メモ

カラープリンタでは、色は各インキ顔料の割合として表現されるため、原稿のスキャン解像度はプリンタの解像度の半分程度で十分です。

● 拡大／縮小して印刷するとき

たとえば、縦横の長さを２倍に拡大して印刷すると、実質上の解像度は半分になります。
元の画像の解像度が 300dpi であれば、拡大した画像の解像度は 150dpi になります。これを 600dpi で印刷すると、粗さが目立つ可能性があります。このようなときに、600dpi で読み込んでおけば、２倍に拡大すると 300dpi になり、十分な品質で印刷できます。逆に半分に縮小して印刷するときは、半分の解像度で十分です。

● 解像度とデータ容量

解像度を２倍にすると、読み込んだ画像データの容量は４倍になります。データ容量があまり増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどの不都合が生じます。解像度は、使用目的に合わせて、必要最小限に設定してください。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）

■ ［スキャナとカメラ］から読み込む

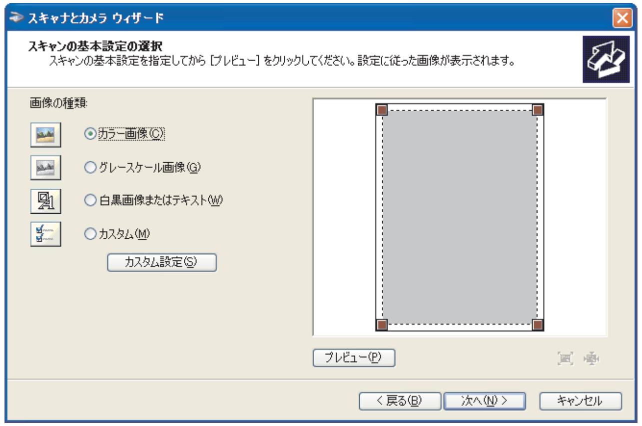
1. ［スキャナとカメラ］フォルダを開きます。

［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］を選択します。

2. WIA ドライバアイコンをダブルクリックします。

3. ［次へ］をクリックします。

4. 画像の種類を選択します。



以下から選択することができます。
・［カラー画像］
・［グレースケール画像］
・［白黒画像またはテキスト］
・［カスタム］
［カスタム］にするときは、［カスタム設定］をクリックし、［プロパティ］画面で詳細設定をします。



5. 読み込む範囲を指定します。

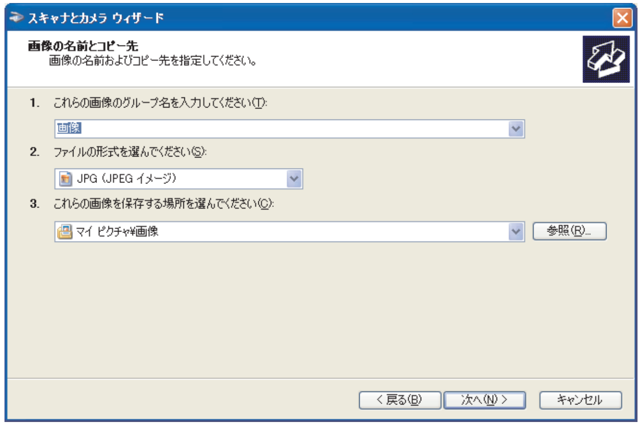
［プレビュー］をクリックし、■をドラッグして読み込み範囲を指定します。

6. ［次へ］をクリックします。

目次
索引

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

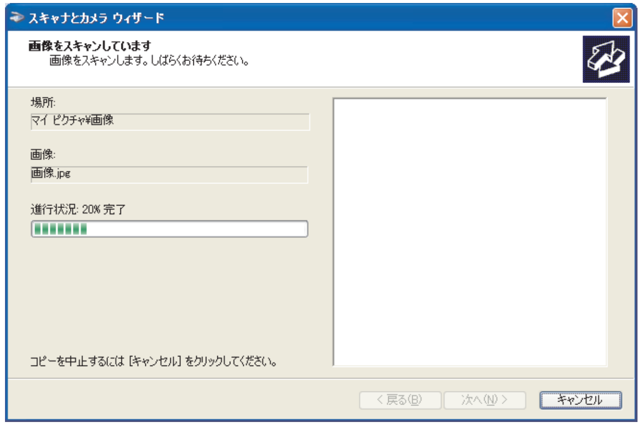
7. 名前、ファイル形式、画像の保存先を指定します。



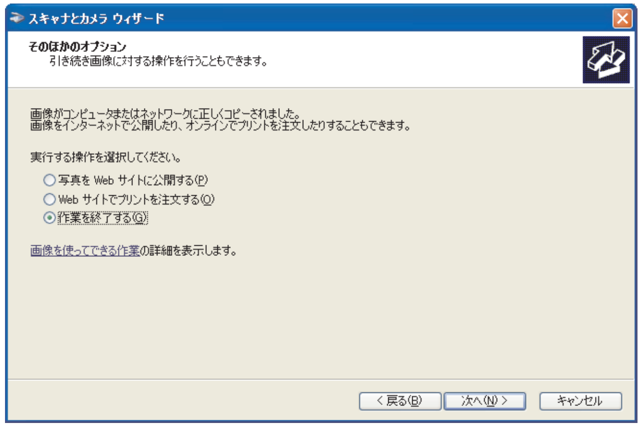
メモ

- 同じ場所に複数の画像を保存したときは、ファイル名の最後に、自動的に連番が振られます（例：001、002 ･･･と２つ目の画像から加えられます）。
- ファイル形式を以下から選択することができます。
  - ・[BMP（ビットマップイメージ)]
  - ・[JPG（JPEG イメージ)]
  - ・[TIF（TIF イメージ)]
  - ・[PNG（PNG イメージ)]

8. ［次へ］をクリックし、読み込みを開始します。



9. ［次へ］をクリックします。



Webサイトにこれらの画像を載せるときや、オンライン出力するときは、適切なオプションを選択します。

10. ［完了］をクリックします。

目次
索引

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

アプリケーションから画像を読み込む

WIA ドライバの画面が表示されたら、以下の手順に従ってください。WIA ドライバを表示するには、「アプリケーションから画像を読み込む」（→ P.3-12）を参照してください。



1. **画像の種類を選択します。**

以下から選択することができます。
・［カラー画像］
・［グレースケール画像］
・［白黒画像またはテキスト］
・［カスタム設定］

2. **必要に応じて［スキャンした画像の品質の調整］をクリックします。**

［詳細プロパティ］画面が表示されます。

3. **画像の品質を調整し、［OK］をクリックします。**

画像の品質の調整の詳細については、「詳細プロパティ」（→ P.3-33）を参照してください。

4. **読み込み範囲を指定します。**

［プレビュー］をクリックし、■をドラッグして読み込み範囲を指定します。

5. **［スキャン］をクリックします。**

詳細プロパティ



［外観］	画像の例を表示します。
［明るさ］	明るさを指定します（-127 ～ 127）。
［コントラスト］	カラーまたはグレースケールで読み込む場合、コントラストを指定します（-127 ～ 127）。
［解像度（dpi）］	解像度を dpi で選択します（50 から 600）。
［画像の種類］	原稿をどのような色の種類（［カラー画像］、［グレースケール画像］、［白黒画像またはテキスト］）で読み込むかを選択します。
［リセット］	現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

メモ

［詳細プロパティ］タブの設定項目と初期値は、選択した画像の種類に応じて変わります。

目次
索引

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

4 困ったときには

プリンタのトラブル

印刷できない

Q	**用紙は入っていますか？**
A	用紙がセットされていることを確認してください。
Q	**用紙がないため、コピージョブが途中で止まっていませんか？**
A	用紙をセットしてください。コピージョブが完了すると、印刷ジョブが自動的に開始されます。
Q	**トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか？**
A	トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。（→スタートアップガイド「トナーカートリッジをセットする」）
Q	**BIOS ポートの設定を変更する必要がありませんか？**
A	お使いのコンピュータのマニュアルで、使用可能なポートについて参照してください。
Q	**コンピュータは正常に動作していますか？**
A	コンピュータの電源が入っていることを確認してください。電源が入っている場合は、コンピュータのマニュアルを参照してください。

電源が入らない

Q	**電源コードがコンセントに接続されていますか？**
A	電源コードが本製品とコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。
Q	**コンセントから電力が供給されていますか？**
A	コンセントから電力が供給されていることを確認し、場合によっては別のコンセントで試してみてください。
Q	**電圧がプリンタに合っていますか？**
A	コンセントの電圧がプリンタの定格電圧と一致していることを確認してください。

プリンタが印刷を停止した

Q	**インタフェースケーブルが外れていませんか？**
A	コンピュータとケーブルの接続を確認してください。
Q	**アプリケーションがフォアグラウンドで動作していませんか？**
A	印刷ジョブを優先すると印刷速度が上がります。

印刷結果がおかしい

Q	**プリンタとコンピュータの間の通信に問題がありませんか？**
A	ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
A	USB ケーブルの長さが 3 m 未満であることを確認してください。
A	配電ボックスを使用していないことを確認してください。
A	Windows で正しいプリンタドライバが選択されていることを確認してください。
Q	**違うプリンタが［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダで選択されていませんか？**
A	［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダで正しいプリンタが選択されていることを確認してください。

プリンタを使用すると、システムが動かなくなる

Q	**システムのセットアップに問題がありませんか？**
A	高品質のシールド付きインタフェースケーブルが使われていることを確認してください。
A	BIOS の設定に問題がある可能性があります。BIOS の設定が正しいことを確認してください（コンピュータのマニュアルを参照してください）。
A	物理メモリが正しく動作していることを確認してください。
A	東芝製ラップトップをお使いの方は、CONFIG.SYS ファイルの次の行を変更してください。 変更前：c:¥winutils¥mxtime.exe 変更後：REM c:¥winutils¥mxtime.exe

デバイスのタイムアウトを知らせるメッセージが表示される

Q	**プリンタの電源が入っていないか、オフラインになっています。コンピュータに接続されていますか？**
A	プリンタのインタフェースケーブルがプリンタとコンピュータの両方にしっかりと接続されていることを確認してください。
A	用紙が用紙カセット（またはマルチフィーダ）から正しく給紙されることを確認してください。
A	プリンタとコンピュータをリセットしてください。
A	もう一度印刷の操作をしてみてください。
A	別のケーブルで試してください。

プリンタドライバのトラブル

プリンタドライバが正常に動作しない

Q **MF プリンタドライバが通常使うプリンタドライバとして選択されていますか？**

A Canon MF3200 Series のプリンタドライバを通常使うプリンタドライバとして指定してください。

文章中に正しく表示されないフォントがある

Q **Adobe Type Manager（ATM）のフォントが含まれていませんか？**

A Adobe Type Manager（ATM）がサポートされていません。Adobe Type Manager（ATM）のフォントを他の適切なフォントに換えてください。

Canon MF3200 Seriesプリンタドライバ以外のプリンタドライバでは印刷できない

Q **プリンタドライバは Canon MF3200 Series と同じポートに接続されていませんか？**

A そのプリンタドライバを Canon MF3200 Series とは異なるポートに接続してください。

USB ポートを使って Canon MF3200 Series プリンタドライバをインストールできない

Q **USB ドライバは正しくインストールされていますか？**

A 次の手順を実行してください。

1. 本製品が USB ケーブルを使ってコンピュータに接続されていて、電源が入っていることを確認します。
2. タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［コンピュータの基本的な情報を表示する］をクリックします（Windows 98/Me/2000 のときは、［設定］→［コントロールパネル］をクリックして、［システム］のアイコンをダブルクリックします）。［システムのプロパティ］画面が表示されます。
3. ［ハードウェア］タブを選択して、［デバイスマネージャ］をクリックし、［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］をダブルクリックします（Windows 98/Me の場合は、［デバイス マネージャ］タブを選択して、［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックします）。
4. ［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］または［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］の下から USB クラスドライバを見つけ、お使いのオペレーションシステムに対して指定されている USB クラスドライバのみ削除します（USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下に表示されている場合は、お使いのオペレーティングシステムに応じて、次のうち 1 つだけを削除します。：［USB 印刷サポート］、［Canon MF3200 Series］、［不明なデバイス］）。
   ［USB 印刷サポート］を選択し、［操作］メニューから［削除］を選択します（Windows 98/Me の場合は、［Canon MF3200 Series］を選択し、［削除］をクリックします）。
5. ［コントロールパネル］を閉じて、USB ケーブルを抜きます。
6. Windows を再起動します。
7. プリンタドライバをインストールします。詳しくは、スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

文字化けして印刷される

Q	**プリンタドライバが正しくインストールされていますか？**
A	プリンタアイコンが［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダに表示されているかどうか調べて、表示されていない場合は MF プリンタドライバをインストールします。プリンタアイコンが表示されている場合は、プリンタアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの［通常使うプリンタに設定］にチェックマークが付いているかどうか調べます。詳しくは、「インストールの確認をする」（→ P.1-4）を参照してください。

スキャナのトラブル

スキャンできない

Q **ディスプレイに何か表示されていますか？**

A ディスプレイに何も表示されていない場合は、操作ガイド（応用編）「第 3 章 困ったときには」を参照してください。

Q **エラーランプが点滅していませんか？**

A エラーランプが点滅している場合は、操作ガイド（応用編）「第 3 章 困ったときには」を参照してください。

Q **原稿は正しくセットされていますか？**

A 一度原稿を取り出し、再度原稿を原稿台ガラスに正しくセットします。（→操作ガイド（基本編）「第 2 章 用紙の取り扱い」）

Q **コンピュータは正常に動作していますか？**

A コンピュータを再起動させてください。

Q **USB ハブや中継器は正常に動作していますか？**

A USB ハブや中継器を使っているときは、USB ケーブルを直接コンピュータに接続して正しく動作するか確認します。USB ケーブルを直接コンピュータに接続して画像が読み込めるときは、USB ハブや中継器が正しく動作するか確認してください。

Q **USB 2.0 対応の USB ハブを使用していますか？**

A USB 2.0 インタフェースを装備したコンピュータに、USB 2.0 対応の USB ハブで本製品を接続したときに、スキャンできないことがあります。そのようなときには USB ケーブルを直接コンピュータに接続してください。

A USB 2.0 インタフェースを装備したコンピュータに、本製品を接続した場合、スキャンできないことがあります。お使いのコンピュータに、2 つ以上の USB ポートが装備されている場合は、もう片方の USB ポートに本製品を接続してください。それでも問題が解決しない場合は、次の操作で、INI ファイルを書きかえてください。あらかじめ、ファイルをコピーし、書きかえる前のファイルを保存することをお勧めします。

1. 以下のファイルをメモ帳か、他のテキストエディタアプリケーションで開きます。
   Windows 98/Me の場合：
   windows¥system¥CNCMFP21.ini
   Windows 2000 の場合：
   winnt¥system32¥CNCMFP21.ini
   Windows XP の場合：
   windows¥system32¥CNCMFP21.ini
2. [ScanSize] セクションで、"Read512Bytes=0" を "Read512Bytes=1" に変更してファイルを保存します。他の部分を書きかえないように注意してください。

Q

本製品のソフトウェアをインストールしたあとに、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールしましたか？

A

本製品のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN準拠のアプリケーションをインストールすると、TWAIN システムファイルが適切でないものと置きかわり、画像を読み込めなくなることがあります。このような場合は、本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-5）、インストールし直してください（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」）。

Q

Windows の［コントロールパネル］の［スキャナとカメラ］で本製品が認識されていますか？

A

次の手順で、［コントロールパネル］の［スキャナとカメラ］フォルダに本製品のドライバ名とアイコンがあるか確認してください。

1. タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をクリックします（Windows 98/2000 のときは、［設定］→［コントロールパネル］をクリックして、［スキャナとカメラ］のアイコンをダブルクリックします）。
2. ［スキャナとカメラ］の中に本製品のドライバがあれば、認識されています。ないときは、本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-5）、インストールし直してください（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」）。

複数ページの PDF ファイルを作成しようとしたが、複数の原稿をスキャンすることができない

Q

［スキャン］タブの［スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる］チェックボックスにチェックが付いていませんか？

A

MF Toolbox のボタンをクリックして、設定ダイアログボックスで［スキャナドライバを表示する］にチェックを付けます。ScanGear MF が開いたとき、拡張モードの［詳細設定］画面の［スキャン］タブの［スキャン終了後 ScanGear を自動的に閉じる］チェックボックスにチェックを付けてスキャンすると、そのときに原稿台に置いてある原稿だけしかスキャンできません。それ以外の原稿もスキャンしたい場合は、スキャン前に［スキャン終了後 ScanGear を自動的に閉じる］チェックボックスのチェックを外してください。

コンピュータがフリーズした

Q	**アプリケーションに十分なメモリが割り当てられていますか？**
A	他のアプリケーションが開いているときは、それらを閉じて使用可能なメモリ容量を増やしてください。
Q	**ハードディスクに十分な空きがありますか？**
A	大きな原稿を高解像度で読み込むときは、ハードディスクに十分な空きがあるか確認します。たとえば A4 サイズの原稿を 600dpi の解像度でフルカラーで読み込むには、最低 300MB のディスクスペースが必要です。
Q	**Photoshop で読み込んでいるときにエラーが起きましたか？**
A	メモリの割り当てを変更します。［編集］メニューから［環境設定］を選択し、［メモリ･画像キャッシュ］をクリックします。［メモリの使用状況］を 10 ～ 20%に変えます。
Q	**プリンタドライバは正常にインストールされましたか？**
A	本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-5）、インストールし直してください（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」）。

付属のユーザソフトウェア CD-ROM のアプリケーションをインストールしたが、MF Toolbox に登録されていない

Q	**MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールしていませんか？**
A	MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールすると、アプリケーションは MF Toolbox に登録されません。MF Toolbox の画面で［設定］をクリックして、アプリケーションを登録します。（→ MF Toolbox を使って読み込む：P.3-6）

MF Toolbox のボタンをクリックすると別のアプリケーションが起動してしまう

Q	**ボタンのリンク先に正しいアプリケーションが設定されていますか？**
A	MF Toolbox の設定したいスキャンボタンをクリックして、リンク先に起動したいアプリケーションを設定してください。他のボタンも同様に設定します。（→アプリケーションの設定（メールソフトの設定）：P.3-10）

変更した設定が反映されない（Windows 2000）

Q	**設定を変更した後にコンピュータを再起動しましたか？**
A	［コントロールパネル］の［スキャナとカメラ］を開き、［イベント］タブで設定を変更したときは、コンピュータを再起動しないと有効になりません。設定を変更したときはコンピュータを再起動させてください。

読み込んだ画像が汚れている

Q	**原稿台ガラス、または原稿台ガラスカバーが汚れていませんか？**
A	原稿台ガラス、または原稿台ガラスカバーを掃除してください。
Q	**画像サイズが小さすぎませんか？**
A	アプリケーションによっては、小さいサイズでは正しく表示できません。100%表示を試してください。
Q	**モニタディスプレイの表示色を 16 ビット以下に設定していませんか？**
A	[画面のプロパティ] で、ディスプレイの表示色を [High Color（16 ビット）] または [True Color（24 ビット）] 以上に設定してください。

スキャンした画像の端に白い線が入る

Q	**原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていますか？**
A	原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）端から約 3mm 離してセットしてください。

読み込んだ画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

Q	**解像度は正しく設定されていますか？**
A	以下のいずれかを行ってください。 ・ アプリケーションで、画像表示を拡大（縮小）してください。[ペイント] や [イメージング] で画像を表示している場合は、拡大表示され、縮小できないことがあります。 ・ 解像度を変更して、再度読み込みます。画像は、解像度を高くすると大きく表示され、低くすると小さく表示されます（→解像度を決める：P.3-30）。

蛍光ペン部分の読み取りが弱い

Q	**[色の調整] は [カラーマッチング] になっていますか？**
A	ScanGear MF の [拡張モード] で、[色の調整] を [カラーマッチング] に設定してください。（→ [色の設定] タブ：P.3-28）

インストール／アンインストール時のトラブル

ソフトウェアをインストールできない

Q	**指示に従ってインストールを行いましたか？**
A	再度インストールしてください。インストールの途中でエラーが起きたときは、コンピュータを再起動して再度インストールしてください。
Q	**他のアプリケーションが開いていませんか？**
A	他のアプリケーションをすべて終了させてから、インストールをやり直してください。

アンインストールに時間がかかる（Windows XP）

Q	**アンインストールするときに、ウイルスチェックプログラムやその他のアプリケーションが開いていませんか？**
A	アンインストールする前に、ウイルスチェックプログラムやその他のアプリケーションをすべて終了させてください。

アンインストールしても、スタートメニューに［Canon］フォルダが残っている

Q	**MF Toolboxより先にMFドライバを削除しましたか？**
A	先にMF Toolboxを削除してからMFドライバを削除してください。 次の操作でフォルダを削除してください。 Windows XP の場合は、［スタート］メニューを右クリックし、Windows エクスプローラを開きます。［All Users］から［スタートメニュー］→［プログラム］を選択し、［Canon］フォルダを削除してください。 Windows 2000 の場合は、［スタートメニュー］から［設定］→［タスクバーと［スタート］メニュー］→［詳細］タブ→［詳細］をクリックし、［All Users］の［スタートメニュー］から［プログラム］を選択し、［Canon］フォルダを削除してください。 Windows 98/Me の場合は、［スタートメニュー］から［設定］→［タスクバーと［スタート］メニュー］→［［スタート］メニューの設定］または［詳細設定］タブ→［削除］をクリックし、［Canon］フォルダを選択して［削除］をクリックします。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

コンピュータに「バージョンの競合」という画面が表示された（Windows 98）

Q	**コンピュータにPhotoshopがインストールされていますか？**
A	インストールの途中で、「バージョンの競合」、「Windows 98 のファイルとは言語または･･･」という画面が表示されたときは、［はい］か［いいえ］をクリックしてください。どちらをクリックしてもこのあとのインストールの操作を問題なく続けられます。

Windows XP にアップグレードしたら、ソフトウェアが使えなくなった

Q	**Windows 98/Me/2000 を、本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）しないで、Windows XP にアップグレードしましたか？**
A	ソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-5）、インストールし直してください（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」）。

［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される（Windows Me）

Q	**［デバイスマネージャ］の［USB（ユニバーサルシリアスバス）コントローラ］の［USB 互換デバイス］に緑の［?］マークが表示されますか？**
A	問題ありません。そのままお使いください。

目次
索引

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5
目次
索引

5 付録

仕様

プリンタの仕様

● ハードウェア

ホストインタフェース	USB1.1、USB2.0

● ソフトウェア

プリンティングソフトウェア	CARPS version 2.40
用紙サイズ	A4、B5、A5、エグゼクティブ、レター、リーガル、洋型 4 号、洋型 2 号、はがき、往復はがき
有効印字領域	用紙の各端面から最大 5mm の余白を除く領域

メモ

仕様は、予告なく変更されることがあります。

スキャナの仕様

形式	カラースキャナ
最大原稿サイズ	216mm × 297mm
読み取り解像度	600dpi × 1200dpi（光学解像度） 9600dpi × 9600dpi（ソフトウェア補間解像度）
読み取り速度	1.5msec/line（600dpi）
ホストインタフェース	USB1.1、USB2.0
デバイスドライバ	TWAIN/WIA(Windows XP のみ)

メモ

仕様は、予告なく変更されることがあります。

用語集

C

Canon ColorGear カラーマッチング

キヤノン社独自の色処理技術を採用した、高速で高精度な処理を実現するカラーマネジメントシステムです。業界標準フォーマットである「ICC プロファイル」に対応し、色設定機能を使った高度な色管理ができます。

D

dpi

1 インチあたりのドット数（dots per inch）のことです。プリンタの解像度を表す単位です。本製品では 600 dpi の解像度で印刷します。

E

Exif

Exif（Exchange Image File）フォーマットは JEIDA（日本電子工業振興協会）で規格されたデジタルカメラ向けの画像フォーマットです。JPEG をベースにしており、JPEG をサポートするソフトなら何でも開くことができます。各 JPEG のヘッダー内に画像が取られた日時や写真の露出情報などの付属情報を保持します。

O

OCR（Optical Character Reader）

光学式文字読み取り装置。スキャナなどを使って手書きの文字や印刷された文字を読み込み、その画像から文字情報を抽出するシステム。スキャナで読み込んだ画像のままでは、ワープロソフトなどで文字を修正することはできませんが、OCR ソフトを使ってテキストファイルにすれば、ワープロソフトなどで編集したり修正したりすることができます。

P

PDF

Portable Document Format の略です。コンピュータ間でドキュメントを送信および表示するときに広く使用されている形式です。PDF ドキュメントは、Adobe 社の Acrobat Reader プログラムを使って表示または印刷できます。

T

TrueType フォント

画面表示と印刷のどちらにも使用できるスケーラブルフォントのことです。

TrueType フォントでは任意の大きさに表示でき、高解像度の場合以外は、画面で見たままのプリント結果が得られます。

TWAIN（Technology Without An Interested Name）

スキャナやデジタルカメラなどからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格です。スキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インタフェース（API）の標準規格です。装置とアプリケーションの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持ちます。

たとえば、TWAIN 対応の画像処理ソフトを使うときは、そのソフトのメニューからスキャナの TWAIN ドライバ（ScanGear MF）を起動してスキャンし、スキャンした画像を元の画像処理ソフトに渡すことができます。

U

USB（Universal Serial Bus）インタフェース

シリアルインタフェースの新規格です。自動的に接続を認識したり（プラグアンドプレイ）、コンピュータや周辺機器の電源を入れたままコネクタを自由に抜き差ししたりすることができます。

W

WIA （Windows Image Acquisition）

スキャナやデジタルカメラから画像を読み込むための規格です。本製品には、スキャナドライバとして、TWAIN 対応ドライバと WIA 対応ドライバの 2 つが用意されています。WIA ドライバは、Windows XP のみ使えます。どちらも TWAIN インタフェースをサポートしているアプリケーション（Photoshop など）で、プリンタ本体を使って原稿を読み込むことができます。

Windows エクスプローラ

ネットワークシステム内のコンピュータのディスクドライブ、フォルダ、ファイルを参照したり、開いたり、管理したりするときに使用する Windows プログラムです。Windows エクスプローラを使って、ネットワーク上の他のコンピュータの共有フォルダを表示したり、開いたりすることもできます。また、Windows エクスプローラを使って、ファイルの移動、コピー、名前変更および削除といったファイルの管理が行えます。

あ行

アプリケーション

アプリケーションソフトウェアの略です。ワープロソフト、表計算ソフト、データベースソフトなどの、特定の目的のために作られたソフトウェア、またはそれらを統合したソフトウェアのことです。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを削除して、インストールする前の状態に戻すことです。

印刷ジョブ

Windows アプリケーションで処理されてから、スプーラに送信されてキューに追加されたドキュメント、またはプリンタへ直接送信されたドキュメントのことです。

印刷の向き

紙の幅（横）または高さ（縦）にそって文字を印刷することです。

インストール

ソフトウェアをコンピュータのハードディスクの所定の位置にコピーし、いつでも使える状態にすることです。

インタフェース

2 つのデバイスを接続するために使用するハードウェアやソフトウェアです。2 つの装置はインタフェースを介して相互に通信します。本製品は、USB インタフェースを使用してコンピュータ（PC/AT 互換機）と通信を行います。

か行

解像度

出力装置のドット密度のことです。dpi（dots per inch）で表されます。低解像度の場合、フォント文字やグラフィックの輪郭がギザギザになりますが、印刷速度は高解像度の場合よりも速くなります。高解像度の場合は、従来の書体デザインへの適合性が高く、曲線や角が滑らかになりますが、印刷速度は遅くなります。このプリンタでは、600 dpi の解像度で出力が生成されます。解像度の値は、横のデータと縦のデータによって表されます。（例：600 dpi－600 dpi）

仮想メモリ

実際の RAM（ランダムアクセスメモリ）であるかのように、Windows 環境で一時的なデータ格納に使用されるハードディスク上の空間です。Windows 環境では、スワップファイルを使ってこの処理が行われます。仮想メモリによって利用可能なメモリは増えますが、スワップファイルを使用しなければならない場合は仮想メモリへのアクセス速度が遅くなります。「物理 RAM」（→ P.5-6）参照してください。

紙詰まり

用紙搬送路に紙が挟まった状態のことです。印刷を続けるには、詰まった紙を取り除く必要があります。

ガンマ補正

画像の明るさを変える方法です。画像のいちばん暗い部分と明るい部分は変えずに、中間調の部分を中心に明るさを変えるので、コントラストを保ったままで明るさを変えることができます。

キュー

現在印刷中のファイル、または印刷の順番待ちに並んでいるファイルのリストです。いったんファイルが印刷されると、そのファイルはキューから削除されます。

給紙

用紙をプリンタ本体の内部に引き込むことです。

クライアント

ネットワーク上のプリンタへ接続するコンピュータのことです。クライアントはプリンタを直接制御せず、サーバを介してプリンタとやりとりします。「サーバ」（→ P.5-5）も参照してください。

グレースケール画像

黒 / 白ではなく、グレーの階調として各ドットを保存するビットマップ画像です。

原稿台ガラス

原稿読み取り部のことです。

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

コマンド

周辺機器に各種の処理を行わせるための命令です。周辺機器の準備ができたときに、インタフェースケーブルを通って、コンピュータから周辺機器へ送られます。

コントラスト

画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差を表します。コントラストを下げると、暗い部分が明るくなり、明るい部分が暗くなります。コントラストを上げると、暗い部分がさらに暗くなり、明るい部分がさらに明るくなります。

コントロールパネル

システム、ハードウェア、ソフトウェア、および Windows の設定を変更するときに使用する Windows プログラム群です。

さ行

サーバ

ネットワーク上でプリンタに直接接続しているコンピュータのことです。サーバはプリンタを管理し、クライアントから送られる印刷ジョブを制御します。「クライアント」(→ P.5-4)も参照してください。

再インストール

インストールしてあったソフトウェアをいったん削除(アンインストール)して、再度インストールすることです。

シールド

電磁気インタフェースからケーブルを通して渡されるデータを保護するために、金属箔で内部の導線を覆ったケーブルの種類です。本製品では、ダブルシールドインタフェースケーブルを使用する必要があります。

斜体

斜めの文字を特徴とするフォントスタイルです。(文字の垂直のストロークは、縦軸に対する角度部分です。)

スキャナドライバ

スキャナを制御するためのソフトウェア。本製品には TWAIN ドライバと WIA ドライバ(Windows XP 用)が付属しています。

スケーラブルフォント

スケーラブルフォントを使うと、固定のサイズと角度で印刷するビットマップフォントとは異なりさまざまなサイズや回転角度で文字を印刷できます。

ソート

複数ページのドキュメントをページの順に並べて複数部印刷するための指定です。

た行

タイトルバー

ウィンドウまたは画面のタイトルが表示される帯状の部分です。多くのウィンドウのタイトルバーには、[コントロール] メニューボックス、最大化ボタン、および最小化ボタンがあります。

縦(印刷の向き)

縦向きに印刷をすることです。紙の短辺の端から端へテキストと画像が印刷されます。

デスクトップ

Windows の作業領域を表す Windows 画面全体のことです。Windows デスクトップ上には、アイコン、ウィンドウ、およびタスクバーが表示されます。

トナー

カートリッジに詰められている黒い樹脂コートされた粉末のことです。電子写真メカニズムによって、プリンタはプリンタ内部の感光性ドラムの表面にトナーを塗布します。

トナー節約モード

印刷データの黒い部分を薄くすることにより、トナーを節約できます。

ドライバ

コンピュータで周辺機器を制御するためのプログラム。プリンタドライバなどのようにフォントやプリンタの機能を制御するプログラムをコンピュータのシステムに提供します。

な行

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段、およびソフトウェアを使って接続されているコンピュータ群です。ソフトウェアにより、ネットワーク上のコンピュータは(プリンタなどの)装置の共有や情報の交換が行えます。

目次
索引

お使いになる前に 1
印刷する 2
原稿をスキャンする 3
困ったときには 4
付録 5

は行

ヒストグラム

画像の階調をグラフで確認できる情報パレットです。

フォルダ

ドキュメント、プログラムファイル、および他のフォルダが保存されるディスク上の保管場所のことです。ディレクトリとも呼ばれています。

フォント

文字のサイズとスタイルです。（例：12 ポイントの Courier 太字）

物理 RAM

仮想メモリとは対照的に、メモリチップの形でコンピュータ内に物理的に存在する RAM（ランダムアクセスメモリ）です。「仮想メモリ」（→ P.5-4）も参照してください。

プリンタドライバ

コンピュータとプリンタとの通信を制御するプログラムです。プリンタドライバは、フォントの記述やプリンタの機能といった情報を Windows に提供します。

プレビュー

実際に印刷したり画像を読み込む前に、どのように印刷またはスキャンされるかを画面に表示したものです。プレビューが印刷またはスキャンしたいイメージと違うときは、設定を変えてもう一度プレビューを表示し確認します。

[プロパティ] 画面

プリンタなど、特定のデバイスに関する情報を含む画面です。

ま行

マイコンピュータ

コンピュータのファイルシステムをざっと見たり、ドライブ、フォルダ、およびファイルを開いたりするときに使用する Windows アプリケーション。マイコンピュータは、アイテムの移動、コピー、名前変更、および削除など、ファイルやファイルシステムの管理に使用することもできます。

明度

明るい領域と暗い領域の相対的な比率のことです。明度を下げると画像全体が暗くなり、明度を上げると画像全体が明るくなります。

メガバイト（MB）

100 万バイトを表す単位のことです。プリンタやコンピュータのメモリサイズを表すときに使用します。

や行

用紙タイプ

すべての種類の用紙（普通紙、厚紙、OHP フィルム、封筒など）は、いくつかの用紙タイプに分類されています。

用紙搬送路

用紙がプリンタを通る経路です。

横（印刷の向き）

横向きに印刷をすることです。紙の長辺の端から端へテキストや画像が印刷されます。

ら行

ランダムアクセスメモリ（RAM）

コンピュータの作業メモリで、使用中のプログラムやデータが一時的に保存される場所です。コンピュータをリセットまたはシャットダウンすると、RAM 内の情報はすべてクリアされます。非常に複雑なドキュメントを印刷する場合は、実行中の他のプログラムを終了するか、またはコンピュータに RAM を増設する必要があります。「物理 RAM」（→ P.5-6）および「仮想メモリ」（→ P.5-4）も参照してください。

目次
索引

索引

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター
（全 国 共 通 番 号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝祭日〉10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　**〒108-8011　東京都港区港南2-16-6**

FA7-8961　(000)